

平成 30 年度

事業報告書



社会福祉法人土佐厚生会

# — 目 次 —

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 土佐厚生会                   | 1  |
| 障害者支援施設 こくふ             | 9  |
| 短期入所事業所 こくふ             | 13 |
| 相談支援センター アルペジオ          | 14 |
| 就労継続支援 B 型事業所 ウィール社     | 15 |
| 就労継続支援 B 型 ワークセンターファースト | 19 |
| 障害者支援施設 あき              | 22 |
| 短期入所事業所 あき              | 26 |
| 特別養護老人ホーム 八流荘           | 27 |
| デイサービスセンター やながれ         | 30 |
| ホームヘルプステーション やながれ       | 32 |
| 在宅介護支援センター やながれ         | 33 |
| 小規模多機能型居宅介護事業所 南風       | 35 |
| 障害者支援施設 とさ              | 37 |
| 短期入所事業所 とさ              | 41 |
| 就労継続支援 B 型事業所 カトレア      | 42 |
| 障害者福祉ホーム コーポラスこくふ       | 47 |
| 公益を目的とする事業              | 49 |

# 土佐厚生会

## 1 基本方針

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を遵守し、人権の尊重とプライバシーの保護に努めるとともに、利用者様が地域社会の一員として社会、経済、文化活動等に参加をし、有する能力に応じた日常生活を営むための適切な支援を行った。

各事業所内においては、安全で安心できる良質なサービスを継続的かつ安定的に提供できるよう、業務改善提案表彰制度に則った活気のある組織運営を進めた。

## 2 事業の総括

- (1) 役職員は、本会の基本理念とする「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を旨とし、必要な知識と技術の習得など、実践を重ねながら切磋琢磨し、常に改善を進めていく組織文化の構築を目指した。
- (2) 役職員は、法人の基本方針に則り、社会福祉事業の主たる担い手として利用者様に対し、継続的かつ適切な福祉サービスの提供に努めるため、ご家族・行政機関その他福祉関係者との連携(報告・連絡・相談・確認)を密にし、きめ細やかな対応を図るなど利用者サービスの向上に努めた。
- (3) 役職員は、提供する福祉サービスの質の向上を図るため、全施設、事業所において自己評価を行い、その結果を公表し社会福祉事業活動の透明化に努めた。
- (4) 役職員は、個人の尊厳や社会的倫理を遵守し、社会福祉事業者に求められている自立性、公益性の確保に努めた。
- (5) 本会の運営する施設、事業所は、地域の福祉ニーズに応えるため、地域住民、行政機関その他福祉関係者との連携を密にし、積極的に情報収集を行うなど地域貢献を図るべく、地域福祉の向上に尽力した。

## 3 研修会の総括

### (1) 平成 30 年度研修会の総括

平成 30 年度は、「専門性の向上」「職場研修の強化」「フィードバックの充実」をコンセプトに研修を実施した。福祉機器や福祉用具を用いて安全に介助が行えるよう職場研修を実施するとともに、各職場の具体的事例について研修を実施することで、課題解決につなげて専門性の向上に取り組んだ。そして、研修での学びを個人の自己満足で終わらせるのではなく、研修を活かす意識を職場でも持つために、研修で得た知識や学びをミーティングや職員会等で伝達し職場で共有したり、講師が話した内容を報告するのではなく、スタッフ自身が研修で「感じたこと、学んだこと、今後取り組むこと」を書いてもらい、受講したスタッフ全員とその上司が共有することでスタッフ自身の新たな気づきに、スタッフが感じた事実をその上司が知ることで次の育成につなげる機会とした。

### (2) 集合研修

| 研修名      | 対象者      | 実施日数 | 研修内容  |
|----------|----------|------|---|
| 先進企業視察研修 | 勤続 3 年以上 | 3 日間 | 大手企業の安全管理システムを学び、施設のリスクマネジメントの構築に役立てる。社会福祉施設の最新竣工事例を理解する。過去の隔離政策の存在と問題点を学び、人権尊重の精神を養う。俳優の表現力を学び、コミュニケーション能力の向上をはかる。 |

## (3) 階層別研修

| 研修名                          | 対象者                        | 実施日数等         | 研修内容  |
|------------------------------|----------------------------|---------------|---|
| 新規採用職員研修                     | 平成30年度<br>新規採用職員           | 5日間<br>(4月)   | 土佐厚生会の歩み・事業内容、経営理念、職場のルール、関係法令や制度の理解、人事考課と等級制度、接遇、安全配慮義務とコミュニケーション、施設見学 |
|                              | 平成30年度<br>新規採用職員<br>(新社会人) | 4日間<br>(4月)   | 基本的な介護知識の習得   |
|                              |                            | 4日間<br>(4月)   | 実践を通じた基本的な介護技術の習得   |
| 新規採用職員研修<br>高知県福祉介護合同入職式     | 平成30年度<br>新規採用職員<br>(新社会人) | 1日間<br>(4月)   | 福祉の仕事に対する誇りやモチベーションの向上、先輩職員との座談会  |
| 新規採用職員研修<br>福祉職場の新任職員研修      |                            | 1日間<br>(6月)   | 福祉サービスの基本理念を踏まえた仕事のやりがいや福祉に携わる心構え、組織の一員として成長するための基本的姿勢                  |
| 初級職員研修<br>KQN新規職員<br>人財化セミナー | 採用概ね3年以内<br>30歳未満          | 半日/7回<br>(通年) | 人が成長する上で土台となる「考え方」を学び合い、確かな仕事観を身につけ「自身の将来像」を描くきっかけを掴む機会                 |
| 中級職員研修<br>KQN現場力強化<br>セミナー   | 中堅職員<br>30歳以上              | 半日/7回<br>(通年) | 職場や自分の業務をより良くしていくためには何が必要かということを考え、自発的に行動していくための考え方を学び合った               |
| 中間管理職研修                      | 中間管理職<br>5～6等級             | 1日/2回         | 人事考課制度の理解促進、部下の育成、面接の手法   |
| 管理職研修                        | 施設長、事業所長<br>施設長補7～8等級      | 1日/2回         | 人事考課制度の理解促進、部下の育成、面接の手法   |

## (4) 職場内研修

| 研修名     | 研修内容                          |
|---------|-------------------------------|
| 介護技術研修  | 感染症、リスクマネジメント、事故対応等           |
| ノーリフト研修 | スタッフの腰痛予防やケアの質向上を目的に研修を実施した。  |
| 虐待防止研修  | 虐待防止委員会が中心になり、テーマに沿って研修を実施した。 |

## (5) 専門職研修

| 研修名   | 実施日数             | 研修内容                      |
|---|------------------|---------------------------|
| 就労支援部会<br>栄養士会<br>理学療法士会<br>入所相談員会<br>入所サビ管会<br>介護職員会 | 各研修会内で<br>決定の上実施 | 専門分野における課題の相談や検討、業務効率化を図る |

(6) 介護職員初任者研修事業

平成 29 年度に引き続き介護職員初任者研修事業を企画し、地域に向けてチラシやホームページ等で広く募集を行った。しかし、応募者が実施定員に至らなかったため平成 30 年度の本事業は中止とした。

4 その他（事業の概要等）

(1) 人事制度の改定

経営理念である「愛情・奉仕・連帯」を軸として、スタッフが安心して働き続けることのできる組織文化（働きやすさと働きがい両立する職場）の構築を図ることを目的に、新人事制度を策定した。新人事制度は、等級制度の再構築、人事考課制度及び賃金制度の改定を行い、全スタッフを対象に制度説明会を実施して、平成 31 年 4 月からスタートした。

新人事制度の策定に当たっては、人事制度等検討委員会を立ち上げ、株式会社名南経営コンサルティングの支援を受けながら、人事制度等検討委員会メンバー間で議論を重ねて制度の改定を行った。また人事考課制度については、平成 30 年度の考課者研修から新人事考課制度に関する研修を実施しており、旧人事考課制度と並行して新人事考課表を使用したトライアルも 2 回実施している。

ア 人事制度等検討委員会メンバー

(ア) 常勤理事 6名

(イ) 法人本部職員 2名

イ 人事制度改定検討事項

| 時 期     | 検 討 事 項        |   |
|---------|----------------|---|
| 平成 29 年 | 8月22日          | ・正職員賃金制度の大枠   |
|         | 9月21日          | ・キャリアパスの大枠  |
|         | 10月31日         | ・職能要件   |
|         | 12月 1日         | ・新人事考課表（ステップアップシート）の大枠  |
|         | 12月14日         | ・人事考課項目、目標考課数、各考課項目のウエイト  |
| 平成 30 年 | 1月19日          | ・求める人材像、人事考課項目  |
|         | 2月26日          | ・人事考課項目   |
|         | 4月24日          | ・正職員の基本給、各種手当、等級別の役割  |
|         | 5月17日          | ・正職員の新卒初任給、中途採用者の前歴加算<br>・正職員の基本給 1 等級の上限額<br>・昇給額、昇格の最低滞留年数、昇格ルール                          |
|         | 6月 1日<br>6月19日 | ・正職員の初任給格付け、職務手当、昇給額<br>・正職員の昇格要件（成績、必須資格及び研修、試験等）<br>・正職員の賞与支給要件、支給率                       |
|         | 7月 3日<br>7月27日 | ・正職員の昇格要件、昇格ルール<br>・正職員の昇給額を再検討<br>・賞与の支給に関する運用ルール<br>・4 等級以上の人事考課項目<br>・一般職の考課項目の再検討及び点数配分 |

| 時 期     |                            | 検 討 事 項  |
|---------|----------------------------|--|
| 平成 30 年 | 8月 3日<br>8月21日             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事考課項目の再検討、考課項目の点数配分</li> <li>・正職員の初任給及び賃金制度の再検討</li> <li>・正職員の等級の移行方法</li> </ul>  |
|         | 10月 5日<br>10月23日           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正職員の昇給額</li> <li>・正職員の昇格ルール見直し、昇給限度額の再検討</li> <li>・正職員の新給与移行時の格付方法、等級の決定</li> <li>・処遇改善金の支給方法及び手当額の検討</li> <li>・処遇改善手当の支給額と支給対象外職種の賃金バランス</li> <li>・資格手当の増額</li> <li>・人件費について</li> </ul>   |
|         | 10月29日<br>10月30日<br>10月31日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・正職員の賃金制度、新制度への移行、昇給・昇格ルール</li> <li>・臨時職員の賃金制度、昇給ルール</li> <li>・人事考課項目、人事考課の運用</li> <li>・新人事制度改定に伴う規定整備</li> </ul>   |
|         | 11月 8日<br>11月13日           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新制度に移行した場合の人件費について</li> <li>・制度改定に伴う正職員の等級及び基本給の移行</li> <li>・処遇改善手当が支給対象外となる職種の賃金について</li> <li>・看護師、理学療法士、管理栄養士の初任給及び前歴加算</li> <li>・高齢者施設の介護員と生活相談員の賃金バランス</li> <li>・正職員の昇給制度及び賞与の運用</li> <li>・臨時職員の賃金制度と昇給の運用</li> <li>・新人事考課の制度及び運用</li> </ul> |
|         | 12月 4日<br>12月10日<br>12月11日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新制度への等級の移行</li> <li>・役職手当、職務手当、資格手当、処遇改善手当</li> <li>・中途採用者の初任給、前歴加算</li> <li>・正職員の賞与計算方法、支給要件の変更</li> <li>・賞与の最終評価の決定、運用ルール</li> <li>・正職員の昇給額決定方法</li> <li>・人事考課の考課項目、考課段階、人事考課表</li> <li>・キャリアパス、昇格要件</li> </ul>                                |
| 平成 31 年 | 1月21日<br>1月25日             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時職員の職種及び時間給、昇給制度</li> <li>・臨時職員の初年度の個別昇給額の決定</li> <li>・新人事制度説明会の開催、日時</li> <li>・賃金制度に関する規定及び内規の作成</li> </ul>  |

#### ウ 人事制度等説明会

| 場所     | 日程             | 時間                         | 対象職員  |
|--------|----------------|----------------------------|-------|
| こくふゾーン | 平成31年<br>2月13日 | 14：00～15：00                | 臨時職員  |
|        | 2月18日          | 16：00～17：30<br>19：10～20：40 | 正 職 員 |
|        | 2月25日          | 19：10～20：40                | 正 職 員 |

| 場所      | 日程            | 時間          | 対象職員 |
|---------|---------------|-------------|------|
| やながれゾーン | 平成31年<br>2月6日 | 17:45~18:45 | 臨時職員 |
|         |               | 19:00~20:30 | 正職員  |
|         | 2月13日         | 17:45~18:45 | 臨時職員 |
|         |               | 19:00~20:30 | 正職員  |
| とさゾーン   | 2月15日         | 18:00~19:00 | 臨時職員 |
|         |               | 19:15~20:15 |      |
|         | 2月23日         | 19:15~20:45 | 正職員  |
| 2月28日   | 17:30~19:00   | 正職員         |      |
|         | 19:15~20:45   |             |      |

## (2) 施設長勉強会

谷養評議員を講師に迎え、入所施設の施設長勉強会（全9回）を開催した。内容と参加者は以下のとおりである。

| 日時             | 内容                          | 参加者  |
|----------------|-----------------------------|--|
| 平成30年<br>6月5日  | 施設長、事業所長としての心構え             | 安丸施設長、今村所長、田中所長、大町所長、後藤SV、小玉施設長、松崎施設長補、甲藤施設長、梅原施設長補、北添所長、藤田施設長、築田施設長補、井関所長 |
| 7月17日          | 今後の法人及び施設運営について             | 安丸施設長、小玉施設長、松崎施設長補、甲藤施設長、梅原施設長補、藤田施設長、築田施設長補                               |
| 8月14日          | 各施設の状況確認<br>(スタッフのチェックリスト)  | 甲藤施設長、梅原施設長補、小玉施設長、藤田施設長   |
| 9月18日          | 個別支援計画、モニタリングについて<br>(事例検討) | 安丸施設長、小玉施設長、岡林サビ管、甲藤施設長、梅原施設長補、藤田施設長、武森サビ管                                 |
| 11月13日         | 個別支援計画、モニタリングについて<br>(事例検討) | 小玉施設長、甲藤施設長、梅原施設長補、藤田施設長、築田施設長補  |
| 12月10日         | 事業計画、事業報告について               | 小玉施設長、甲藤施設長、梅原施設長補、藤田施設長、築田施設長補  |
| 平成31年<br>1月15日 | H30年度事業計画の進捗                | 安丸施設長、小玉施設長、甲藤施設長、藤田施設長、築田施設長補   |
| 2月7日           | 平成31年度事業計画について              | 藤田理事長、小玉施設長、甲藤施設長、藤田施設長、築田施設長補   |
| 3月18日          | 平成31年度事業計画について              | 小玉施設長、甲藤施設長、藤田施設長、築田施設長補   |

(3) 本会の主たる活動

ア 理事会等の活動は以下のとおりである。

| 活動名         | 実施日                    | 実施場所               | 主たる活動内容   |
|-------------|------------------------|--------------------|---|
| 理 事 会       | 平成30年 6月 2日            | 法 人 本 部            | 平成 29 年度事業報告・決算、平成 30 年度補正予算、評議員会の開催などの審議   |
|             | 9月 8日                  | 法 人 本 部            | 平成 30 年度事業進捗状況、平成 30 年度補正予算、評議員会の開催、諸規定の一部変更などの審議   |
|             | 12月 1日                 | 法 人 本 部            | 平成 30 年度事業進捗状況、平成 30 年度補正予算、老朽化に伴う障害者支援施設あきの建替え事業及び小規模多機能型居宅介護事業所南風高台移転事業の実施、債権放棄、評議員会の開催、諸規定の一部変更などの審議 |
|             | 平成31年 1月12日            | サザンシティホテル          | 諸規定の一部変更などの審議   |
|             | 3月 9日                  | 法 人 本 部            | 平成 31 年度事業計画・予算、平成 30 年度補正予算、平成 30 年度つなぎ資金の借入、評議員会の開催、諸規定の一部変更、施設長の任免などの審議                              |
| 評 議 員 会     | 平成30年 6月16日            | ザ・クラウンパレス<br>新阪急高知 | 平成 29 年度事業報告・決算、平成 30 年度補正予算、社会福祉充実計画などの審議  |
|             | 9月29日                  | 法 人 本 部            | 平成 30 年度事業進捗状況、平成 30 年度補正予算などの審議  |
|             | 12月15日                 | 法 人 本 部            | 平成 30 年度事業進捗状況、平成 30 年度補正予算、老朽化に伴う障害者支援施設あきの建替え事業及び小規模多機能型居宅介護事業所南風高台移転事業の実施、債権放棄などの審議                  |
|             | 平成31年 3月23日            | 法 人 本 部            | 平成 31 年度事業計画・予算、平成 30 年度補正予算、平成 30 年度つなぎ資金借入などの審議   |
| 監事による<br>監査 | 平成30年 5月17日<br>～ 5月19日 | —                  | 法人の事業、会計、財務についての書類監査、業務監査   |
|             | 5月22日                  | 法 人 本 部            | 施設、事業所の経営及び会計事務、決算書の確認監査  |

イ 各種会の活動は、以下のとおりである。

| 活動名      | 開催年月日            | 実施場所    | 主たる活動内容  |
|----------|------------------|---------|--|
| 業務執行理事会  | 毎月 1 回           | 法 人 本 部 | 理事長、業務執行理事により重要案件の調査・審議を行った。                           |
| 褒賞・懲戒委員会 | 平成 31 年 3 月 11 日 | 法 人 本 部 | 就業規則第 46 条の規定により、本会及び関係機関へ表彰を行う役職員の選考、永年勤続表彰制度の決定を行った。 |

(4) 地区施設運営委員会

土佐厚生会の第三者機関である地区施設運営委員会は、あき、こくふ、とさの 3ゾーンにおいてそれぞれに設置されている。施設の利用者様やそのご家族及び地域住民の方々の法人や事業所に対する苦情受付及びその解決に積極的に取り組んだ。



(5) 新規学卒採用者の内訳

平成 30 年度採用活動の結果、平成 31 年 4 月 1 日付け採用スタッフは以下のとおり

| 職 種   | 配 属 先             | 学 歴   | 人 員 |
|-------|-------------------|-------|-----|
| 職業指導員 | 就労継続支援 B 型事業所カトレア | 大 学 卒 | 1 人 |

(6) 人財の確保とその育成

新規学卒者の確保のため、以下の活動を行った。

| 学生へのアプローチ | 活動内容  |
|-----------|---|
| 学校への求人活動  | ① 中四国、関西、東海、関東地域の専門学校及び大学等へ求人票及び求人パンフレットの送付<br>② 県内の高等学校、福祉系専門学校、大学へ学校訪問<br>③ 四国地区の大学等に訪問（5 月）<br>④ 高知県 U ターン就職サポートガイドへの情報掲載<br>⑤ 県内の高等学校専用の企業情報誌 WANT に法人 PR 情報を掲載<br>⑥ 高知県社会福祉法人経営青年会主催の県内福祉系大学等教員との意見交換会に参加し、学生の動向等の情報収集と意見交換を行った。（8 月）  |
| 就職フェア等    | ① 高知県教育委員会主催の高等学校求人事業所説明会（6 月）<br>就職担当教員等と面談、就職予定者の情報収集と求人説明を行った。<br>② 高知県教育委員会共催の高校生のための企業合同説明会（7 月）<br>法人 PR のプレゼンを行った。<br>③ 高知県福祉人材センター主催のふくし就職フェア（8 月）<br>法人 PR のプレゼンを行った。<br>④ 高知労働局主催の新規大卒等就職フェア（8 月）<br>⑤ 高知県社会福祉協議会主催の福祉の仕事はじめての一步講座（10 月）<br>こくふ、八流荘及びあきで 2 回開催し、福祉施設への就職を目指す学生及び求職者に仕事や施設の魅力を PR した。<br>⑥ 高知労働局主催の高等学校新卒者就職面談会（11 月）<br>⑦ 高知県福祉人材センター主催のふくし就職フェア（2 月）<br>法人 PR のプレゼンを行った。 |
| 広報活動      | スタッフブログを通じて、福祉の職場を身近に感じてもらえるよう施設の出来事や行事を発信した。   |
| 求人情報の公開   | ① ハローワーク<br>② 高知県福祉人材センター<br>③ 新規大学卒業予定者専用のインターネット求人サイト(求人受付 Navi)<br>④ リクナビダイレクトへの求人情報掲載<br>⑤ 本会ホームページ   |

(7) 情報公開について

本会が設置経営している施設及び事業所の状況、その他、法人の透明性を図るため、次のとおり情報の公開を行った。

| 事 項                       | 場 所                                   |
|---------------------------|---------------------------------------|
| 法人経営状況の公開、閲覧<br>現況報告、財務諸表 | こくふ、やながれ、とさの各福祉ゾーンで定款に定める情報開示を行った。    |
|                           | 財務諸表等電子開示システム                         |
|                           | 障害福祉サービス等情報公表、法人ホームページ                |
|                           | 日本財団公益事業 web サイト canpan fields ホームページ |
| 財務諸表                      | 福祉新聞、機関紙                              |

(8) 事故件数（通院不要で軽微なものを含む）

平成 30 年度の利用者様の事故件数は 50 件で、平成 29 年度の 54 件より 4 件減少した。

平成 30 年度利用者様、スタッフにおける施設別の事故件数

|      |                     | こくふ      | アルペジオ | ウィール社 | ファースト | コーポラスこくふ | あき | 八流荘      | デイやながれ | ヘルпыやながれ | 支援やながれ | 南風 | とさ       | カトレア | 法人本部     | 合計  |
|------|---------------------|----------|-------|-------|-------|----------|----|----------|--------|----------|--------|----|----------|------|----------|-----|
| 利用者  | ヒヤリハット              | 8        | 0     | 0     | 0     | 0        | 7  | 47       | 0      | 0        | 0      | 12 | 123      | 2    | 0        | 199 |
|      | インシデント              | 32       | 0     | 2     | 0     | 3        | 27 | 138      | 18     | 2        | 0      | 20 | 82       | 0    | 0        | 324 |
|      | 事 故                 | 5        | 0     | 0     | 0     | 0        | 8  | 22       | 0      | 0        | 0      | 4  | 10       | 1    | 0        | 50  |
| スタッフ | 車 輛 事 故             | 0        | 0     | 1     | 1     | 0        | 0  | 1        | 0      | 1        | 0      | 2  | 2        | 1    | 1        | 10  |
|      | 労 働 災 害<br>(申請した件数) | 1<br>(1) | 0     | 0     | 0     | 0        | 0  | 6<br>(6) | 0      | 0        | 0      | 0  | 2<br>(2) | 0    | 1<br>(1) | 10  |
|      | 通 勤 事 故             | 0        | 0     | 1     | 0     | 0        | 2  | 0        | 1      | 0        | 0      | 0  | 0        | 0    | 0        | 4   |

※日時不明事故含む

(9) 土佐厚生会高知駅前オフィスの設置と小規模作業所ファーモニーの運営

平成 28 年 4 月に正式リニューアルオープンを果たし、店舗運営のみならず、やながれ福祉施設センターの各事業所から、昼食弁当を受注するなど、職業指導員 1 名と店舗スタッフ 1 名の計 2 名による少数精鋭で運営した。

高知駅周辺にお住まいの方々や勤務をされているの方々、遠路大豊町から日赤病院に通院をされている方々のやすらぎの場として寄与するとともに、やながれ福祉施設センターに勤務するスタッフの福利厚生にも重要な役割を果たせた。法人本部はもとより各事業所との連携を密にしながら、特に衛生管理面には細心の注意をはかり、努力した。

他施設と比べ小規模経営であることから、スタッフにおいては有給が取得しやすく、日々の生活面、健康面においても特に問題なく事業計画に基づいた適切な施設運営を担うことができた。

(10) やながれ福祉施設センター 新築事業

やながれ福祉施設センター新築事業については、建設用地の確保に多くの時間を費やしてきたが、この度、安芸市所有の安芸市西浜字ケイコヤ 2386 番地ほか 5058.61 m<sup>2</sup>を購入した。建設用地購入までには、平成 31 年 2 月 14 日に津久茂町地区の皆様、津久茂町公民館において建設についての概要説明会を開催し、理解を得た。

また、雨水の処理等についても、雨水が国道の側溝を通り安芸港に流れ込むため、国土交通省及び安芸市漁業協同組合の了承を得た。現在、都市計画法による開発許可の申請中であり、今後、造成工事及び関連工事を実施し、その後、令和 2 年 1 月に建築着工、全ての事業完了は令和 2 年 10 月を目指している。

# 障害者支援施設 こくふ

## 1 事業の総括

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を遵守し、「気付きと変化でつながる和」をスローガンとして、職場環境の改善に努めると共に、利用者様が更に安心して生活できる施設づくりに努めました。

## 2 事業報告

### 事業計画 1

利用者様の確保に努め、施設経営の安定を図ります【目標数値：稼働率 95%以上】

- (1) 新規利用者の獲得と待機者の早期入所調整に努めます。
- (2) 月毎の収支状況を朝礼等で報告し、コスト意識を高めるとともに、施設経費を前年度比 3%削減に努めます。
- (3) 障害支援区分見直しの早期依頼に努めます。

稼働率は目標を大きく下回り、平均 87.2%でした。その要因としては、利用者様の高齢化、重度化に伴う入院から退所に至った方が 8 名(入院中の死亡 1 名を含む)、月平均の通院者も 67.6 名と多く、1ヶ月以上の長期入院者が延べ 10 名、最長 69 日の入院 1 名もおられました。また、一人当たりの入院期間は 17.2 日であったことも要因と考えられます。

- (1) 新規入所者は、外部へのアセスメント(11 件)や入所検討会を行いながら確保に努めましたが、医療的ケアや施設環境の不備等の理由から見送ったケースもあり、新規入所者は 6 名に止まりました。
- (2) 経費の削減については、推移が分かりやすいペーパータオルとトイレトペーパーの経費 3%削減を計画していたが、ペーパータオルの素材変更やトイレトペーパーの仕様変更に伴い、仕入単価の上昇があり、削減はできませんでした。
- (3) 市町村への依頼は行ったが、区分見直しに至った事例はありませんでした。

### 事業計画 2

働きやすい職場環境、風通しの良い風土づくりに努めます。

(職場環境の改善とスキルアップ)

- (1) 居室担当を個別担当制に変更するとともに、号棟に偏らない業務配置の実施により、良好な人間関係の構築、やりがいの持てる職場を目指します。
- (2) 管理職との面接を年 2 回行い、スタッフの現状把握に努めます。
- (3) 業務手順表・マニュアルの完成を目指します。
- (4) 施設内外の研修を通してスタッフのスキルアップを図り、サービスの向上に努めます。

- (1) 居室担当を個別制にするなど、号棟に偏らない配置の実施を行い、利用者様との関わりを深め、やりがいの持てる職場を目指しました。
- (2) スタッフへの面接と日ごろからのコミュニケーションを密にとり、スタッフ個々の状況により、必要に応じて個別面談を実施しました。
- (3) 床走行リフトやスリングシート使用のマニュアル作成を実施しました。
- (4) スタッフスキルアップのため施設内研修を実施(表 1)、施設外研修に参加(表 2)をしました。

ア 施設内研修及び勉強会

表 1

| 事項           | 回数及び実施日 | 参加者(延べ人数) |
|--------------|---------|-----------|
| 虐待防止研修       | 3回      | 58名       |
| リスクマネジメント    | 2回      | 15名       |
| ノーリフト推進委員勉強会 | 5回      | 25名       |

イ 施設外研修

表 2

| 事項                        | 実施年月日           | 場所       | 人員 |
|---------------------------|-----------------|----------|----|
| 高知県身体障害者児施設協会総会           | H30. 4. 18      | 高知市      | 1名 |
| 中四国身体障害者施設協議会研修会          | H30. 5. 10～11   | 島根県松江市   | 1名 |
| 新規職員人財化セミナー               | H30. 6. 18      | 高知市      | 1名 |
| 福祉現場の新任職員研修               | H30. 6. 18      | 高知市      | 1名 |
| 食と栄養の会                    | H30. 6. 19      | 高知市      | 1名 |
| 高知県口のリハビリテーション研修大会        | H30. 7. 8       | 高知市      | 1名 |
| 全国社会福祉法人経営者協議会 主任係長講座     | H30. 7. 11～12   | 大阪府吹田市   | 1名 |
| 高知県相談支援従事者研修              | H30. 7. 18～19   | 高知市      | 1名 |
| 新規職員人財化セミナー               | H30. 7. 23      | 高知市      | 1名 |
| 全国身体障害者施設協議会研修大会          | H30. 7. 31～8. 1 | 大阪市      | 2名 |
| 高知県社会福祉法人経営青年会セミナー        | H30. 8. 1       | 高知市      | 1名 |
| 現場力強化セミナー                 | H30. 8. 6       | 高知市      | 1名 |
| 全国福祉施設士セミナー               | H30. 8. 6～7     | 東京都      | 1名 |
| 身体拘束廃止リスクマネジメントセミナー       | H30. 8. 29      | 高知市      | 2名 |
| 新規職員人財化セミナー               | H30. 9. 3       | 高知市      | 1名 |
| 成年後見人利用促進セミナー             | H30. 9. 3       | 香南市      | 1名 |
| 中国四国ブロック福祉施設士セミナー         | H30. 9. 5～6     | 山口県岩国市   | 1名 |
| 防災・BCP シンポジウム             | H30. 9. 7       | 高知市      | 1名 |
| 現場力強化セミナー                 | H30. 9. 10      | 高知市      | 1名 |
| 高知県相談支援従事者研修              | H30. 9. 12～14   | 高知市      | 1名 |
| 介護事業所支援セミナー面談者研修          | H30. 9. 18      | 高知市      | 2名 |
| 食と栄養の会                    | H30. 9. 19      | 高知市      | 1名 |
| 平成 30 年度第 3 回施設長実学講座      | H30. 9. 25～26   | 東京都      | 1名 |
| BCP 策定講座                  | H30. 9. 29      | 安芸市      | 1名 |
| 新規職員人財化セミナー               | H30. 10. 9      | 高知市      | 1名 |
| 中四国身体障害者施設協議会職員研修会        | H30. 10. 11～12  | 広島市      | 1名 |
| BCP 策定講座                  | H30. 10. 13     | 安芸市      | 1名 |
| 現場力強化セミナー                 | H30. 10. 16     | 高知市      | 1名 |
| 介護事業所支援セミナーOJT 研修         | H30. 10. 17     | 高知市      | 2名 |
| 中四国施設福祉士会福祉改善活動発表         | H30. 10. 26     | 高知市      | 2名 |
| 全国社会福祉法人経営者協議会広報発信力強化セミナー | H30. 11. 5      | 大阪府吹田市   | 2名 |
| 東京視察研修                    | H30. 11. 7～9    | 東京都・神奈川県 | 4名 |
| 食事介助方法について学ぼう             | H30. 11. 10     | 高知市      | 3名 |

| 事 項                     | 実施年月日          | 場所   | 人員 |
|-------------------------|----------------|------|----|
| 中四国身体障害者施設協議会支援職員研修大会   | H30. 11. 14～16 | 高松市  | 4名 |
| 上級リスクマネジメント養成講座         | H30. 11. 26～27 | 東京都  | 1名 |
| 中四国身体障害者施設協議会事務管理研修会    | H30. 11. 29～30 | 高知市  | 2名 |
| 現場力強化セミナー               | H30. 12. 3     | 高知市  | 1名 |
| 食と栄養の会                  | H30. 12. 6     | 高知市  | 1名 |
| 日本地域理学療法士学会学術大会         | H30. 12. 8～9   | 神奈川県 | 1名 |
| 高知県リハビリテーション研究大会        | H30. 12. 16    | 高知市  | 1名 |
| 新規職員人材化セミナー             | H31. 1. 15     | 高知市  | 1名 |
| 現場力強化セミナー               | H31. 1. 28     | 高知市  | 1名 |
| 高知県身体障害者児施設協会生活部会研修大会   | H31. 1. 30     | 高知市  | 7名 |
| 高知家ノーリフティングフォーラム        | H31. 2. 3      | 高知市  | 2名 |
| 高知県口のリハビリテーション研修会       | H31. 2. 15     | 高知市  | 2名 |
| 中四国身体障害者施設協議会総会及び施設長研修会 | H31. 2. 21～22  | 松山市  | 1名 |
| 食と栄養の会                  | H31. 2. 26     | 高知市  | 1名 |
| 社会福祉法人決算実務研修会           | H31. 2. 27     | 高知市  | 2名 |
| 高知県身体障害者児施設協会施設長セミナー    | H31. 3. 5      | 高知市  | 1名 |
| 高知県口のリハビリテーション研修会       | H31. 3. 10     | 高知市  | 2名 |

### 事業計画3

ノーリフティングケアの推進を図り、スタッフの腰痛予防に努めます。

(1) 福祉用具の適切な使用を目指します。

(2) 福祉機器使用手順書の整備を行います。

(3) ノーリフトに関する知識・技術研修を開催し、意義の統一を図ります。

(1) 毎月ノーリフト委員会を開催し、以下のように取り組みの強化をしました。

ア 使用に関するアンケート

イ スタッフ主導の勉強会

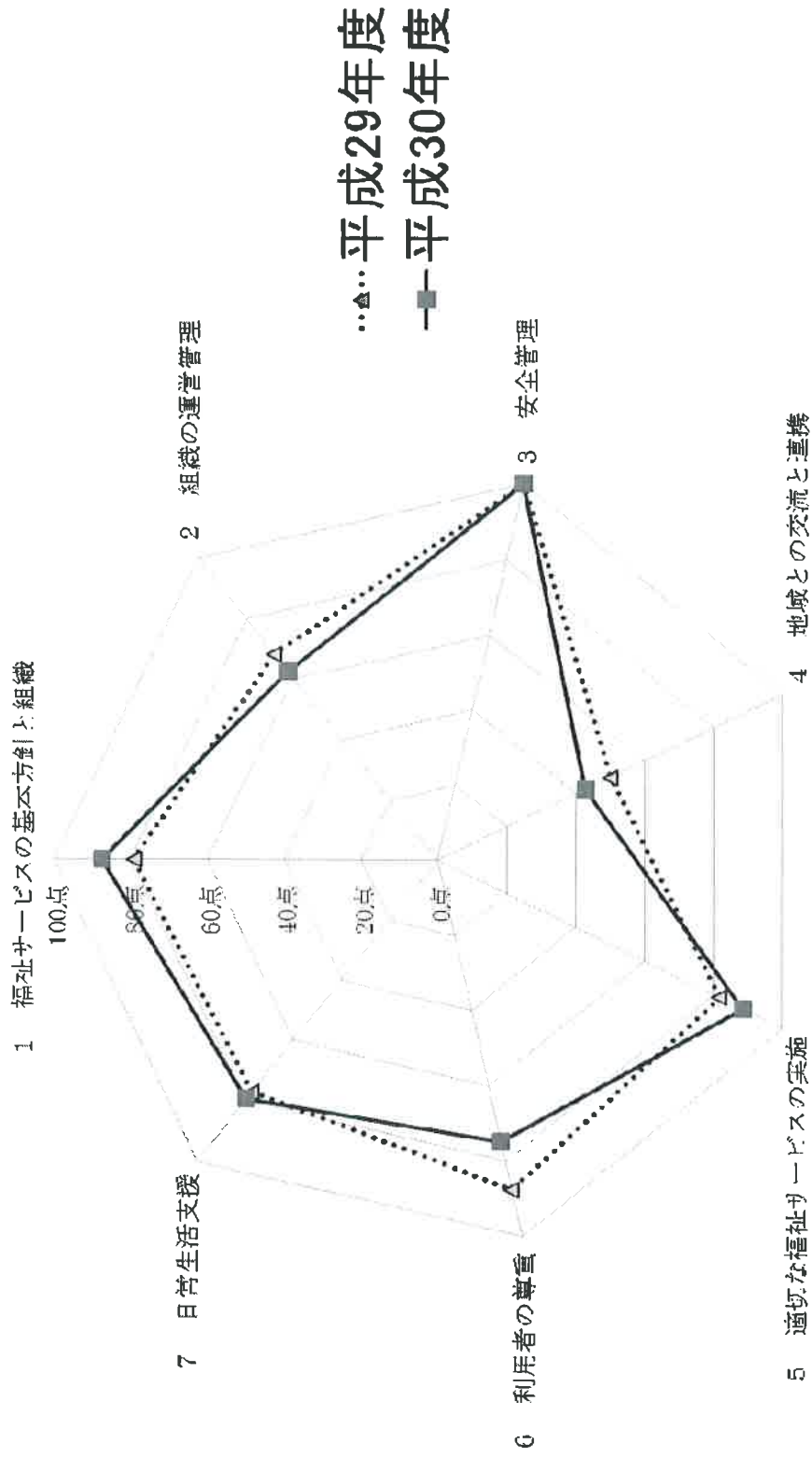
ウ 他施設(オイコニア様)の施設見学

エ ノーリフト強化月間の開催

(2) 全スタッフにグローブとポシエットを配布し、使用の強化を図りました。

(3) 高知県後援である日本ノーリフト協会のノーリフトフォーラムにスタッフを派遣し、高知県や他施設の取り組み、使用状況を学んできました。

## 評価細目の自己評価結果 (障害者支援施設こくふ)



# 短期入所事業所 こくふ

## 1 事業の総括

利用者様の介護に伴う、ご家族の身体的、精神的な負担を一時的に軽減するとともに、利用者様が可能な限り居宅において自立生活を営むことができるよう、障害者支援施設こくふに準じたサービスを提供させていただき、心身機能の維持向上に努めました。

## 2 事業報告

- (1) 短期入所利用者に対する日常生活の介護は、障害者支援施設こくふの利用者様の支援に準じて行い、安全で安心して生活を営むことができる事業所設備の維持管理と環境の保持に努めました。
- ア 自立生活を促進するために必要な支援と相談を行いました。
  - イ 基本的な日常生活の支援を行いました。
  - ウ 医療ケアと疾病の予防、健康管理を行いました。
  - エ 適切な食事の提供と健康の保持に努めました。

### (2) 利用者様の状況

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

| 市町村名 | 障害程度区分 | 利用延日数 |
|------|--------|-------|
| 東広島市 | 区分 5   | 21 日  |
| 東広島市 | 区分 4   | 26 日  |
| 高知市  | 区分 6   | 29 日  |
| 高知市  | 区分 5   | 18 日  |
| 高知市  | 区分 4   | 1 日   |
| 安芸市  | 区分 5   | 141 日 |
| 南国市  | 区分 6   | 5 日   |
| 南国市  | 区分 5   | 7 日   |
| 南国市  | 区分 4   | 3 日   |
| 香美市  | 区分 5   | 30 日  |
| 本山町  | 区分 5   | 40 日  |
| 計    |        | 321 日 |

# 相談支援センター アルペジオ

## 1 事業の総括

- (1) 特定相談支援事業の円滑な運営を図るとともに、利用者様の意思及び人格を尊重した指定計画相談支援の提供に努めました。
- (2) 南国市の相談支援事業所との連携を密にするために意見交換会に参加し、地域活動支援センター等とも連携をとるよう努めました。
- (3) サービス利用等利用計画やモニタリングは計画的に確実に作成し、関係機関に提出しました。

## 2 事業報告

- (1) サービス等利用計画作成状況 単位：件 (平成31年3月31日現在)

| 月<br>施設名 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計  |
|----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| こくふ      | 1  | 4  | 1  | 2  | 0  | 1  | 2   | 3   | 1   | 4  | 4  | 1  | 24 |
| あき       | 0  | 3  | 1  | 0  | 1  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 6  |
| とさ       | 0  | 1  | 0  | 2  | 0  | 1  | 0   | 0   | 0   | 1  | 0  | 0  | 5  |
| ウィール社    | 0  | 1  | 0  | 3  | 1  | 0  | 1   | 0   | 0   | 0  | 2  | 0  | 8  |
| カトレア     | 0  | 0  | 2  | 0  | 2  | 0  | 0   | 2   | 0   | 1  | 2  | 7  | 16 |
| 在宅他GH    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 1  |
| 合計       | 1  | 9  | 4  | 7  | 4  | 3  | 4   | 5   | 1   | 6  | 8  | 8  | 60 |

- (2) モニタリングの状況 単位：件 (平成31年3月31日現在)

| 月<br>施設名 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| こくふ      | 7  | 7  | 13 | 17 | 3  | 0  | 4   | 5   | 5   | 8  | 6  | 6  | 81  |
| あき       | 3  | 5  | 0  | 5  | 3  | 2  | 0   | 2   | 0   | 0  | 3  | 4  | 27  |
| とさ       | 0  | 1  | 2  | 2  | 11 | 2  | 2   | 4   | 1   | 1  | 2  | 1  | 29  |
| ウィール社    | 4  | 1  | 5  | 0  | 2  | 1  | 3   | 2   | 5   | 2  | 1  | 1  | 27  |
| カトレア     | 2  | 2  | 1  | 1  | 2  | 7  | 0   | 1   | 4   | 0  | 2  | 0  | 22  |
| 在宅他GH    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 1   | 0  | 0  | 1  | 2   |
| 合計       | 16 | 16 | 21 | 25 | 21 | 12 | 9   | 14  | 16  | 11 | 14 | 13 | 188 |

- (3) 施設外研修への参加状況 (平成31年3月31日現在)

| 事項                  | 実施年月日              | 場所  | 人員 |
|---------------------|--------------------|-----|----|
| 強度行動障害支援者養成研修(基礎研修) | H30. 8. 28～ 8. 29  | 高知市 | 1名 |
| 成年後見制度利用促進セミナー      | H30. 9. 3          | 香南市 | 1名 |
| 高知県依存症地域生活支援者研修会    | H30. 10. 22        | 香美市 | 1名 |
| 全国相談支援ネットワーク研修会     | H30. 12. 21～12. 22 | 東京都 | 1名 |
| 強度行動障害支援者養成研修(実践研修) | H31. 2. 4～ 2. 5    | 高知市 | 1名 |



# 就労継続支援 B 型事業所 ウィール社

## 1 事業の総括

障害のある方が地域で自立生活を可能にするために、一人ひとりのニーズや思い、希望に寄り添った支援を実施しました。また、「気付きと変化でつながる和」をスローガンに、利用者様やそのご家族、スタッフが連携を深め、日常生活の充実と利用者様にとって一番良い「働き方」を提供しました。

## 2 事業報告

- (1) 個別支援計画に基づき利用者様のニーズや課題、目標を把握し、利用者様、ご家族、支援者が支援方法、手段を共有し支援を実施しました。
- (2) 利用者様個々の健康状態や心身の状態の変化を面談や毎月の体重、血圧測定で把握するとともに、必要に応じてご家族や行政、医療機関と連携を図りました。
- (3) 利用者様の自治会や家庭生活での役割の掌握と、その役割が遂行できるように支援し、また利用者懇談会等で意見を聞き、社会人としての社会生活力を高めるよう支援を行いました。
- (4) 外出活動を通して、地域社会との交流や利用者様の見聞や興味を広げることで、利用者満足度が一層高まるよう努めました。

| 時 期            | 行 事                 | 備 考  |
|----------------|---------------------|--|
| 平成30年<br>4月 6日 | 春の外出<br>高知城歴史博物館    | 博物館内で大砲や銃、陣羽織を見ながら歴史上の人物の紹介等を見学することができました。昼食は市内のすし店で春の彩と味付けの料理を堪能しました。             |
| 7月21日          | こくふ福祉の<br>村まつり      | 利用者様、ご家族、スタッフ、地域住民、ボランティア等が参加し、地域交流の一環としての相互理解を深めました。                              |
| 9月13日          | 秋の法要                | 敷地内にある祠の供養を行うと共に、利用者様・スタッフの安全と健康を祈願しました。   |
| 9月21日          | 秋の外出<br>(釣りグループ)    | 利用者様が障害前の趣味を再度楽しみたい、手が不自由になったけどもう一度竿を持って釣りたいとの思いの中で参加できました。                        |
| 10月11日         | 秋の外出<br>(買物グループ)    | 高知市のイオンモールへ外出し、買物や映画鑑賞を楽しみ、利用者様の気分転換を図りました。  |
| 10月24日         | 秋の外出<br>(オーテピアグループ) | オーテピア内の見学とプラネタリウムで季節による夜空が映し出されるのを楽しみました。昼食は各自好きなメニューを食されました。                      |
| 11月18日         | 南国ボランティア<br>デイ      | 地域交流活動の一環として、希望者が参加をしました。ウィール社は焼き芋を販売しました。   |
| 12月25日         | クリスマス忘年会            | 地域の方を招待し、ゆっくりと食事を取り、食後はカラオケ、ボッチャ、トランプ、ダーツ等のレクリエーションを楽しみました。一年間の労をねぎらい互いの親睦が深まりました。 |
| 平成31年<br>3月14日 | 春の法要                | 敷地内にある祠の供養を行うと共に、利用者様・スタッフの安全と健康を祈願しました。   |

- (5) 全スタッフが担当外である作業の工程や全送迎コース等業務内容を把握し、有給休暇の取得をしやすい環境づくりを行いました。
- (6) 利用契約者 25 名を確保し、1 日平均 21 名以上の通所を目標としました。稼働状況は以下のとおりです。

|                |        | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 合計/◎   |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 平成<br>30<br>年度 | 利用契約者数 | 25     | 26     | 26     | 26     | 26     | 26     | 26     | 26     | 25     | 25     | 25     | 25     | 25.6   |
|                | 開所日数   | 21     | 22     | 21     | 22     | 20     | 20     | 22     | 21     | 20     | 21     | 19     | 22     | 251    |
|                | 出勤のべ人数 | 487    | 526    | 507    | 509    | 483    | 471    | 529    | 479    | 451    | 476    | 428    | 501    | 5847   |
|                | 1日平均   | 23.2   | 23.9   | 24.1   | 23.1   | 24.2   | 23.6   | 24.0   | 22.8   | 22.6   | 22.7   | 22.5   | 22.8   | 23.3   |
|                | 稼働率    | 116.0% | 119.5% | 120.7% | 115.7% | 120.8% | 117.8% | 120.2% | 114.0% | 112.8% | 113.3% | 112.6% | 113.9% | 116.5% |
| 29<br>年度       | 利用契約者数 | 24     | 24     | 24     | 25     | 25     | 24     | 24     | 24     | 24     | 23     | 23     | 24     | 24.0   |
|                | 1日平均   | 21.3   | 20.8   | 21.1   | 21.5   | 21.6   | 20.7   | 21.2   | 21.6   | 21.1   | 19.6   | 21.3   | 22.1   | 21.2   |
|                | 稼働率    | 106.5% | 104.0% | 105.5% | 107.5% | 108.0% | 103.5% | 106.0% | 108.0% | 105.5% | 98.0%  | 106.5% | 110.5% | 106.0% |
| 28<br>年度       | 利用契約者数 | 24     | 24     | 24     | 24     | 24     | 24     | 24     | 25     | 24     | 24     | 24     | 24     | 24.1   |
|                | 1日平均   | 21.6   | 21.1   | 21.7   | 22.0   | 21.7   | 21.0   | 21.5   | 22.5   | 22.2   | 22.3   | 22.6   | 22.2   | 21.9   |
|                | 稼働率    | 108.0% | 105.5% | 108.5% | 110.0% | 108.5% | 105.0% | 107.5% | 112.5% | 111.0% | 111.5% | 113.0% | 111.0% | 109.5% |

ア 利用者様は5月に1名の方が通所開始、11月に1名の方が高齢者施設に入所されたため退所となりました。

イ 通院後など半日の出勤を促し稼働率の向上を図りました。

- (7) 業務改善提案制度等を利用し、作業手順書や自助具の作成を行い、利用者様がミスなく効率的に作業できる環境整備を図りました。

- (8) スタッフの資質向上を図るため、施設外研修にも積極的に参加しました。

#### 施設外研修・学習会の参加状況

| 研修内容  | 実施年月日                 | 場所  | 人数 |
|---|-----------------------|-----|----|
| 平成30年度高知県身体障害者(児)施設協会                           | 2018/ 4/18            | 高知市 | 1  |
| 障害者就業・生活支援センター「ゆうあい」<br>平成30年度第1回中央東地区連絡会       | 2018/ 5/24            | 香美市 | 2  |
| 平成30年度高知県福祉施設士会総会及び研修会                          | 2018/ 6/28            | 高知市 | 1  |
| 安全運転管理者講習                                       | 2018/ 8/21            | 南国市 | 1  |
| 平成30年福祉サービス苦情解決セミナー                             | 2018/ 9/ 3            | 高知市 | 1  |
| 平成30年度第34回中国・四国ブロック福祉施設士セミナーin岩国                | 2018/ 9/ 5～2018/ 9/ 6 | 岩国市 | 1  |
| 社会福祉法人の「公益的な取り組み」に関するブロック意見交換会                  | 2018/10/ 2            | 南国市 | 1  |
| 第11回中国・四国ブロック福祉改善活動発表                           | 2018/10/26            | 高知市 | 1  |
| 平成30年度発達障害者就労支援セミナー                             | 2018/11/ 1            | 高知市 | 2  |
| 第48回中国・四国社会就労センター協議会職員研修会                       | 2018/11/19～2018/11/20 | 岡山市 | 1  |
| 就労支援フォーラム NIPPON2018                            | 2018/12/ 8～2018/12/ 9 | 東京都 | 5  |
| 平成30年度高知県身体障害(児)者施設協会作業部会・高知県社会就労センター協議会合同職員研修会 | 2019/ 1/11～2019/ 1/12 | 高知市 | 6  |
| 平成30年度高知県身体障害(児)者施設協会生活部会                       | 2019/ 1/30            | 高知市 | 3  |

| 研修内容  | 実施年月日      | 場所  | 人数 |
|---|------------|-----|----|
| 障害者就業・生活支援センター「ゆうあい」<br>平成 30 年度第 2 回中央東地区連絡会                 | 2019/ 2/ 6 | 香美市 | 1  |
| 社会福祉施設総合保険制度説明会   | 2019/ 2/19 | 高知市 | 1  |
| 平成 30 年度高知県身体障害（児）者施設協会<br>施設長セミナー・高知県社会就労センター協<br>議会合同管理者研修会 | 2019/ 3/ 5 | 高知市 | 1  |

(9) 小学校や学生の実習受け入れ実績はありませんでした。

(10) 授産活動の実績は以下のとおりでした。

|      | 作業名    | 28 年度      | 29 年度      | 30 年度      | 対前年比      |
|------|--------|------------|------------|------------|-----------|
| 印刷部門 | —      | 15,698,584 | 14,127,595 | 16,182,789 | 2,055,194 |
| 精米部門 | —      | 5,173,255  | 5,257,872  | 6,037,107  | 779,235   |
| 受託作業 | 浜幸     | 315,910    | 304,590    | 300,744    | △3,846    |
|      | ティーバッグ | 327,570    | 313,891    | 443,436    | 129,545   |
|      | ミニパック  | 473,025    | 578,812    | 644,251    | 65,439    |
|      | ティッシュ  | 158,776    | 157,218    | 153,978    | △3,240    |
|      | 砂糖袋詰   | 58,616     | 59,109     | 67,762     | 8,653     |
|      | いりこ    | 421,501    | 454,015    | 594,846    | 140,831   |
|      | 入浴剤袋詰  | 56,219     | 31,620     | 0          | △31,620   |
| その他  | 内訳     | 54,395     | 109,852    | 120,156    | 10,304    |
|      | キーホルダー |            |            | 10,800     |           |
|      | 石灰袋詰   |            |            | 10,430     |           |
|      | 竹チップ   |            |            | 8,419      |           |
|      | 木工作业   |            |            | 19,500     |           |
|      | 弘文印刷作業 |            |            | 18,764     |           |
|      | 花軍手袋詰  |            |            | 1,243      |           |
|      | 菊水配送料  |            |            | 51,000     |           |
| 合計金額 | —      | 22,737,851 | 21,394,574 | 24,545,069 | 3,150,495 |
| 平均工賃 | —      | 21,769     | 23,299     | 22,880     | △419      |

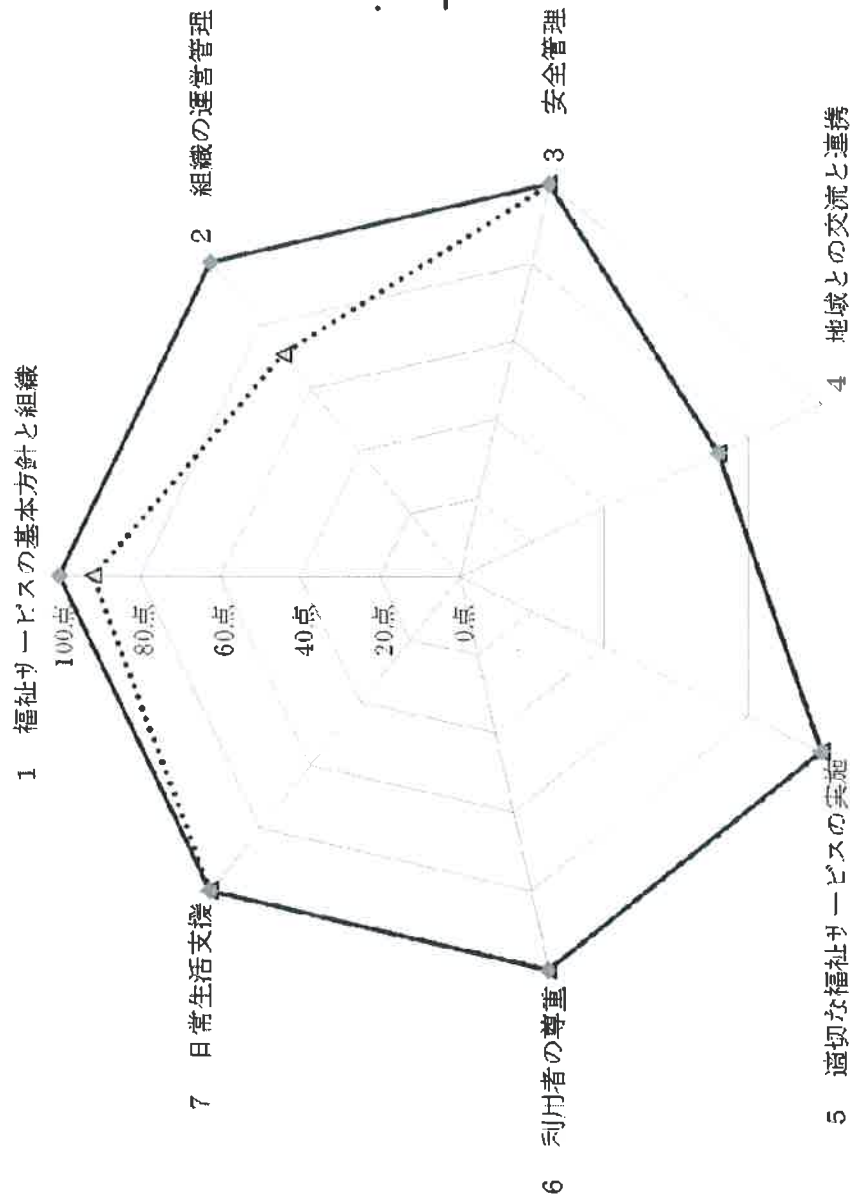
ア 編集、印刷部門は、大口注文のある取引先からの発注が例年 1 回の伝票が 2 回の発注（+1,550 千円）のほか、土佐市の障害者計画、高知労働局の入札の受注で増収となりました。

イ 精米部門は、とさゾーンの発注が委託会社の日清医療食品から施設に変更され、注文数の増加（+2,390 kg）があり、売上増となりました。

ウ 受託作業部門は、株式会社魚国総本社との取引で、ティーバッグの注文数が増えたため作業増となったこと、また、冬場は受託量が減少する作業があるが、いりこの作業量を増やしたことで増収することができました。

エ 平均工賃は、授産作業の売上は伸びましたが、利益率が落ちたこと、また稼働率が向上し分配率が下がったことが要因で、目標の 23,000 円には届きませんでした。

## 評価細目の自己評価結果 (ウィール社)



# 就労継続支援 B 型ワークセンター ファースト

## 1 事業の総括

嶺北地区に居住する利用者様が地域において働きながら自立生活を送ることができるよう、主体的意欲と作業能力を尊重し、作成した個別支援計画をもとに、スタッフが地域関係者と連携をとりながら支援を実施しました。

## 2 事業報告

(1) 利用者様個々の障害特性に配慮し、利用者様自身の働く意欲と作業能力を尊重し、個別支援計画に基づき支援を行いました。

(2) 平成 30 年度の新規入所者は 2 名（7 月、11 月）で、退所者は 3 名（4 月、6 月、1 月）でした。退所理由は一般就労が 1 名、健康上の理由が 1 名、自己都合が 1 名でした。利用契約者 12 名、1 日平均 9 名の確保を目標としていましたが、目標には届きませんでした。年間の利用者様の状況は以下のとおりです。

|                |        | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計/@  |
|----------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 平成<br>30<br>年度 | 利用契約者数 | 11    | 10    | 10    | 10    | 10    | 10    | 10    | 11    | 11    | 11    | 10    | 10    | 10.3  |
|                | 開所日数   | 21    | 22    | 21    | 19    | 20    | 19    | 22    | 21    | 20    | 21    | 19    | 22    | 247   |
|                | 出勤のべ人数 | 173   | 175   | 162   | 156   | 164   | 161   | 167   | 180   | 182   | 155   | 160   | 175   | 2010  |
|                | 1日平均   | 8.2   | 8.0   | 7.7   | 8.2   | 8.2   | 8.5   | 7.6   | 8.6   | 9.1   | 7.4   | 8.4   | 8.0   | 8.1   |
|                | 稼働率    | 82.4% | 79.5% | 77.1% | 82.1% | 82.0% | 84.7% | 75.9% | 85.7% | 91.0% | 73.8% | 84.2% | 79.5% | 81.4% |
| 29<br>年度       | 利用契約者数 | 7     | 7     | 8     | 8     | 10    | 9     | 9     | 9     | 9     | 11    | 11    | 11    | 9.0   |
|                | 1日平均   | 6.0   | 6.2   | 6.0   | 5.7   | 6.7   | 6.0   | 6.0   | 5.5   | 6.3   | 6.4   | 7.5   | 7.8   | 6.2   |
|                | 稼働率    | 60.0% | 62.0% | 60.0% | 57.0% | 67.0% | 60.0% | 60.0% | 55.0% | 63.0% | 64.0% | 75.0% | 78.0% | 62.0% |
| 28<br>年度       | 利用契約者数 | 10    | 10    | 10    | 10    | 10    | 9     | 7     | 7     | 7     | 7     | 7     | 7     | 8.0   |
|                | 1日平均   | 8.1   | 7.6   | 7.8   | 6.0   | 6.2   | 5.8   | 6.0   | 5.8   | 6.0   | 5.3   | 5.6   | 6.0   | 6.3   |
|                | 稼働率    | 81.0% | 76.0% | 78.0% | 60.0% | 62.0% | 58.0% | 60.0% | 58.0% | 60.0% | 53.0% | 56.0% | 60.0% | 63.0% |

(3) 地域との交流や趣味活動の機会を持てるようイベント行事を以下のとおり実施しました。外出先ではその地域の食品等の買い物支援を行いました。

| 時 期            | 行 事               | 備 考  |
|----------------|-------------------|--|
| 平成30年<br>4月 6日 | 春の外出              | 愛媛県とべ動物園にて、広々とした園内をゆっくりと動物を見て過ごしました。                                       |
| 7月14日          | のいち動物公園           | 作業が少ない時期に、各自弁当を持参して遠足を行いました。   |
| 10月29日         | 秋の外出              | 鉄道歴史パーク in SAIJOにて、ジオラマの見学や、懐かしい車両の運転台に座り、レバーやスイッチ操作を行い運転手気分を味わいました。       |
| 11月 3日         | 大豊町民文化祭           | 地域の文化祭に出店し、銀不老アイス等の販売と健康チェックやゲームに参加し、地域の方々と交流をしました。                        |
| 12月 5日         | あったかハート<br>ふれあい大会 | 同日開催のデイケア交流会にも参加し、他施設の利用者様とゲーム等を楽しんだ。ふれあい大会では、銀不老アイスの販売と音楽療法の話を聞き実演を行いました。 |

| 時 期    | 行 事      | 備 考   |
|--------|----------|---|
| 12月25日 | クリスマス忘年会 | 一年の労をねぎらい、利用者様とスタッフ、地域の保健師や相談員、役場担当職員等日頃お世話になっている方を招待し会食、ゲームや発表会を行い、親睦を深めました。また司会進行は利用者様が行いました。 |
| 12月26日 | 吉本新喜劇観覧  | 保健センターより無料のチケットをいただき、生のステージを見て大喜びでした。   |

- (4) ファーストの仲間づくりと社会生活力の増進については、利用者様主体の自治会活動を積極的に支援し、行事やイベント内の役割や企画等を主体的に行えるようサポートしました。
- (5) 町村が発行する受給者証のうち 65 歳以上で、手帳の保持がなく介護保険の適用とならない、作業が可能な方の受け入れについては、対象となる利用者様はいませんでした。
- (6) 嶺北地区の就労系 3 事業所（本山町りんどう、土佐町どんぐり）で嶺北就労部会を設置し、合同作業を行いました。作業内容は以下のとおりです。

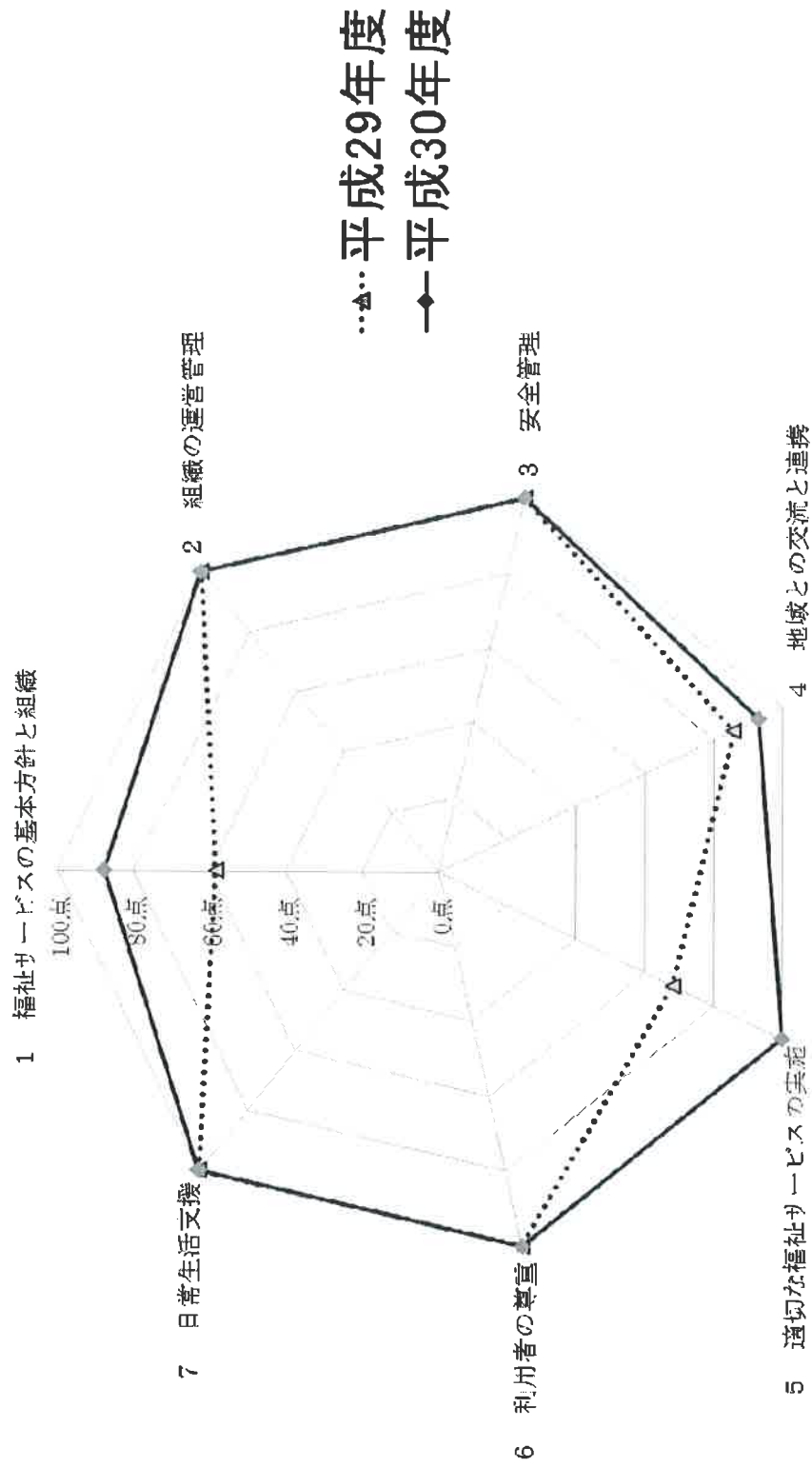
| 実施日                | 作業内容                           | 参加者                                      |
|--------------------|--------------------------------|--|
| 平成30年 6月27日        | 土佐町森小学校（廃校）プール清掃<br>終了後ランチ、交流会 | 利用者様 5 名、スタッフ 1 名<br>利用者様 5 名、スタッフ 1 名合流 |
| 9月 3日              | トキワ園様中庭清掃                      | 利用者様 4 名、スタッフ 1 名                        |
| 10月12日             | 土佐町町営住宅草引き                     | 利用者様 4 名、スタッフ 1 名                        |
| 10月15日             | 本山町たばこ組合清掃                     | 利用者様 3 名、スタッフ 1 名                        |
| 10月22, 23, 26, 30日 | 土佐町農家芋掘り                       | 利用者様 3~4 名、スタッフ 1~2 名                    |
| 11月 8日             | 土佐町たばこ組合清掃                     | 利用者様 3 名、スタッフ 1 名                        |
| 11月10日             | 高知県立大学池キャンパス学祭出店               | スタッフ 1 名                                 |

- (7) 施設の移転については、平成 30 年 9 月末に旧大豊町役場に隣接する農工センター 1 階に移転しました。（大豊町高須 231 番地）
- (8) 授産活動実績

障害特性に応じた作業手順や担当作業に配慮し、自助具等を作成することで作業効率や質の確保を行いました。実績は以下のとおりです。

| 作業名        | 28 年度        | 29 年度        | 30 年度       | 前年対比      |
|------------|--------------|--------------|-------------|-----------|
| ミニパック      | 207, 861     | 287, 130     | 276, 439    | △10, 691  |
| 菊水酒造       | 303, 967     | 287, 951     | 406, 633    | 118, 682  |
| 印刷         | 754, 456     | 713, 727     | 433, 099    | △280, 628 |
| 銀の市        | 278, 902     | 134, 693     | 60, 636     | △74, 057  |
| 大豊町基石茶協同組合 | 228, 549     | 148, 333     | 129, 296    | △19, 037  |
| 松田医薬品      | 247, 487     | 226, 833     | 170, 487    | △56, 346  |
| 未広         | —            | 14, 785      | 21, 582     | 6, 797    |
| 嶺北就労部会     | —            | —            | 28, 000     | 28, 000   |
| その他        | 373, 335     | 148, 750     | 105, 940    | △42, 810  |
| 合計         | 2, 394, 557  | 1, 962, 202  | 1, 632, 112 | △330, 090 |
| 平均工賃額      | ¥ 1 1, 4 1 8 | ¥ 1 0, 0 2 7 | ¥ 9, 7 4 9  | △¥ 2 7 8  |

## 評価細目の自己評価結果 (ファースト)



# 障害者支援施設 あき

## 1 事業の総括

「いつだって笑顔はこころの潤滑油」のスローガンのもと、経営安定、支援の質向上を図った。稼働率は年平均 80.3%と改善し、収入増となった。日常生活や自立に向けての支援や、文化的・社会的活動の場面では、利用者様の意向をくみ取り、反映に努めた。人材育成では、マニュアル整備の遅れやリスクマネジメントの不十分さが課題として残った。

## 2 事業報告

### 事業計画 1

施設経営の安定を図るために、利用者数 45 人確保を目指します。

- (1) 新規利用者獲得に向けて、関係機関へ働きかけます。
- (2) 新規利用者獲得に向けて、迅速な受け入れ態勢を整えます。

平成 30 年度の利用者登録数については、4 名の退所に対して 6 名の新規入所があり、前年度 42 名から 2 名増の 44 名となった。

- (1) 関係機関（行政、相談支援事業所及び病院）に訪問、相談及び依頼を実施した。
- (2) 施設利用の問い合わせをいただいた方については介護、医療、相談の部署が日程調整つき次第、アセスメントを実施した。入所の可否を判断する前にショートステイを利用して様子を確認させていただいたケースや、入所に必要な書類がそろわずに時間がかかったケースもあったが、入所問い合わせ後に連絡がない場合は関係機関へ後追いをし、直近日に全部署長による入所検討会を実施する等、迅速な受け入れに努めた。新規入所者の入所や入院者の退院に伴う情報について記載が曖昧であったり、調整が必要な場合は関係機関に問い合わせを行い、詳細な情報を各部署に伝達することで、スムーズな入所、退院ができた。

### 事業計画 2

安心、安全な生活を送れるよう、提供するサービスの質の安定と向上に努めます。

- (1) マニュアル等の整備を行い、記憶に頼る体質から記録に残す習慣への変革を図ります。
- (2) 利用者様の意向に寄り添った個別支援、マニュアル作成を行い、安全かつ継続したサービスを提供していきます。
- (3) リスクマネジメントに対する知識・意識の向上を図り、インシデント発生後に対策を実施するまでの期間短縮を目指します。

利用者様からの希望、困っていること、環境設備の不具合があればその都度、改善を行った。利用者様へ法人理念、基本方針、施設の事業計画について伝え、施設運営上の様々な取り組みを紹介し実施していくことで、安心安全な生活、サービスの質安定・向上が実現できた。

- (1) 業務マニュアルについては、個々の業務係・担当者が着手している部分もあるが、マニュアル作成方法についての指導が十分できず作成が遅れをとっており、完成には至らなかった。



(2) 利用者様の意向については、介護、医療、相談、栄養、リハビリの全部署、専門職が聞き取りを行い、個別支援計画に反映し実施した。本人やご家族からの情報は、アセスメントシートに記載し情報共有を行った。毎月の「集い」「懇談会」「給食委員会」では、利用者様から施設への意見、質問、要望を受けたり、それらに対する検討・反映結果を報告した。施設対応希望別外出、日中活動「外出の日」の行き先は、利用者様の希望にできるだけ添って実施した。その他、レクリエーション大会の競技種目、行事食のメニュー、日中活動の内容見直しにおいても、利用者様の意見を取り入れたり、食事の嗜好調査や残差調査により代替食・選択食として献立へ反映した。

「やながれゾーン施設運営委員会」での相談件数は、委員受付件数2件、窓口受付件数2件であり、施設運営委員から助言をいただいたり、自分達で解決方法を検討、実施していった。また利用者個別の事案が発生した際には、利用者本人、ご家族、各部署、必要に応じて関係機関と話し合いを持ちながら、意向に寄り添った支援方法を決定し、実施した。

(3) 発生したヒヤリハット7件、インシデント27件、事故8件に対して対策、実施を行い再発防止に努めたが、事案によっては対策決定に時間がかかることもあった。また、個々の事案についてのPDCAサイクルの機能が十分果たせず、同様の事案が発生することもあった。PDCAサイクルを作りあげ、運用させていくことが課題として残った。施設の件数には含まれないが、食事提供者による厨房アクシデントが12件発生した。厨房の確認不足が原因で禁忌食品や間違った食事形態のセットミスが多くあったが、施設スタッフの発見により、大事には至らなかった。

総合的な防災訓練と避難訓練については、避難誘導訓練5回、消火訓練3回、通報訓練3回、地震訓練3回、土砂災害訓練1回、図上訓練1回、夜間想定訓練5回実施した。また、10月12日に安芸市内の特別養護老人ホームにて実施された福祉避難所開設・運営訓練に参加し、行政、地域、他事業所の方との意見交換、情報共有を行い、防災意識が向上した。

### 事業計画3

状況に応じて判断し、行動に移せる人間力を持ったスタッフの人財育成に取り組みます。

- (1) 目標・育成面接、OJTを活用しながら、各個人に求める役割を明確化し、実践につなげていきます。
- (2) 研修を通し、専門知識・技術の習得と、コンプライアンスの推進を図ります。

各スタッフが求められる役割を自覚し、各種委員、係、担当業務を行うことで、個々のスタッフからの発信力や、業務改善において成長が見られた。

(1) 面接、OJTを通して、各スタッフが役割を果たしていった。業務改善提案では、目標件数を達成し132件の提出があった。

(2) 職員会で「職場のルールブック」、「働き方改革関連法」の研修、KYT（危険予知トレーニング）を実施、外部研修は、専門知識の習得が必要なものについて選び、参加した。（労務管理と人財マネジメント、身体拘束廃止のリスクマネジメントセミナー、成年後見制度利用促進セミナー、企業のメンタルヘルス問題・働き方改革の取り組み、介護技術講習、指導的職員研修、障害者虐待防止・権利擁護研修会、ノーリフティングフォーラム、社会福祉施設総合保険制度説明会等）

また、ノーリフト推進委員会を立ち上げ、ノーリフティングケアに対するスタッフ間の認識の共有と今後の施設での取り組み方の方向性を定めた。

外部研修では、「福祉 QC」の研修に参加、QC 手法を学び、「中・四国ブロック福祉改善活動発表大会 in 高知」にて、発表を行った。発表のテーマは「働き方改革 声の出せる職場を目指して」とし、定型業務の見直し、利用者支援の標準化を経て全介護スタッフが担当・係を受け持つ事で責任感を持って自分の意見を発信できるようになるまでの取り組みを発表した。また、「中・四国身体障害者施設協議会事務管理研修会」では開催担当施設として、準備をはじめ、スタッフそれぞれの役割を果たし、研修会を滞りなく終えることができた。

#### 事業計画 4

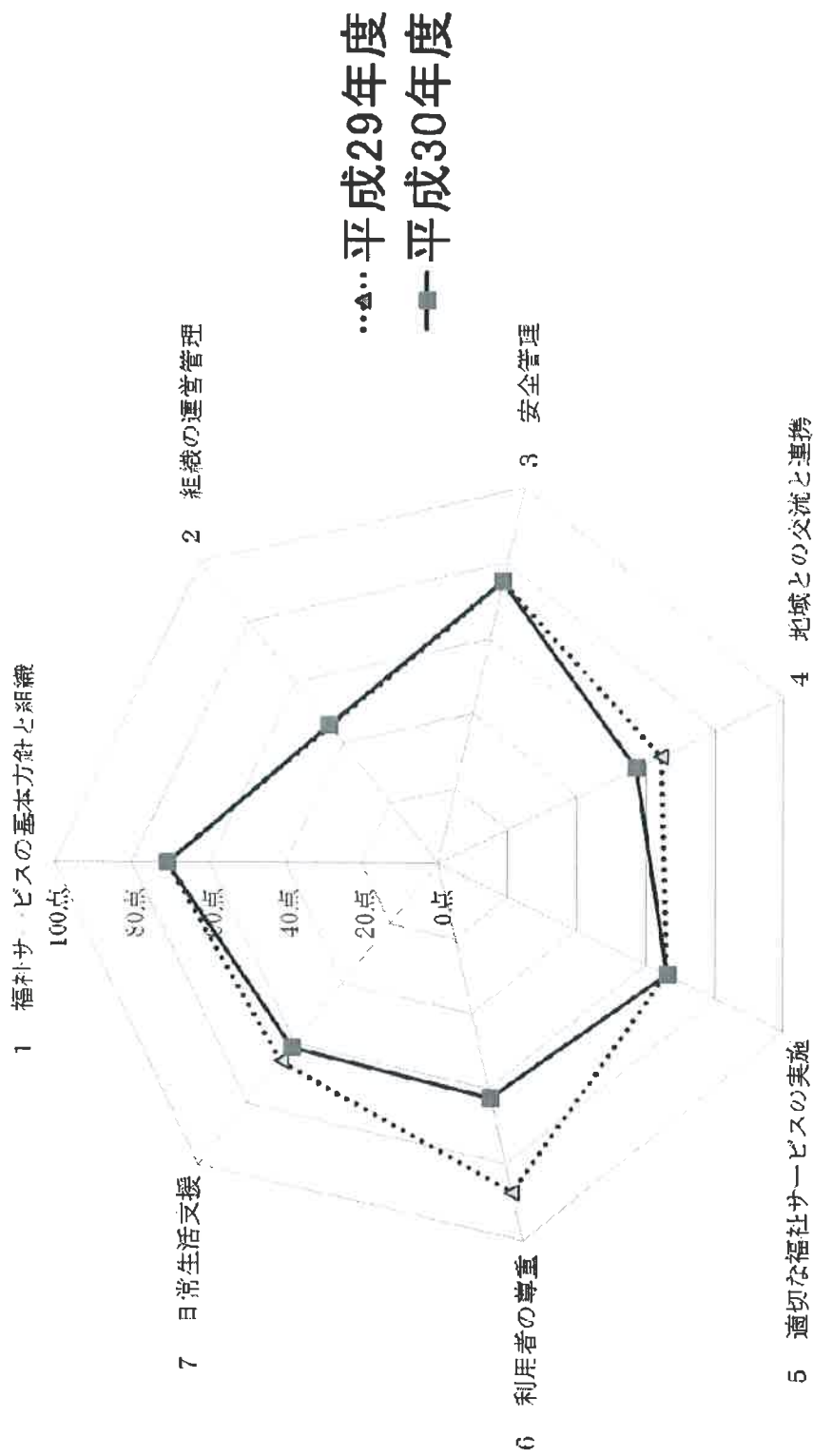
ご家族、関係機関との関わりを深め、より良い信頼関係の構築を図ります。

- (1) ご家族、関係機関への報告、連絡、相談の徹底を図ります。
- (2) ご家族が参加できる行事を計画し、交流を深める機会を増やします。

ご家族、関係機関とは、報告、連絡、相談が抜からないように心掛け、施設に来所されたときには、各部署が積極的に関わりコミュニケーションを持つようにした。地域のイベントでの交流、安芸市主催の各種会への出席を通して、関係性維持に努めた。

- (1) ご家族の面会があったときや電話での連絡時に利用者様の施設での様子を伝えた。6 か月毎のケース会ではご家族へ出席の案内をするとともに、介護、リハビリ、栄養、医療、その他施設生活全般への希望の聞き取りを行い、個別支援計画に反映させた。その他、個別の利用者支援での課題は、行政に報告、相談を行い、必要に応じてご家族を交えて話し合いを持つなどして改善に取り組んだ。
- (2) レク大会では初めてご家族参加の案内をして、ご家族に参加していただいたことで大いに盛り上がった。外出行事でもご家族の参加があり、利用者様、ご家族、スタッフとの交流を深めることができた。

## 評価細目の自己評価結果 (障害者支援施設あき)



## 短期入所事業所 あき

### 1 事業の総括

当事業所は、障害者支援施設あきに併設されたもので、事業は障害者支援施設あきに準じて実施した。

### 2 事業報告

- (1) 短期入所利用者様に対する日常生活の支援は、障害者支援施設あき利用者様への支援に準じて実施した。
- (2) 安全で安心して生活できるように、事業所設備の維持管理と環境の保持に努めた。  
具体的内容は次のとおりであった。
  - ア 基本的な日常生活の支援を行った。
  - イ 自立生活を促進するために必要な支援と相談を行った。
  - ウ 出来る限り在宅生活に準じた支援に努めた。
  - エ 適切な医療ケアと食事の提供を行い健康保持に努めた。
- (3) 事業収入は 4,902,728 円で前年度比 162,080 円減少、稼働率 66.6%は前年度比 2.9%減少であった。
- (4) 平成 30 年度 4 月報酬改定で、基本報酬単価の増加、処遇改善加算の増加となるが、稼働率の低下により減収となった。

# 特別養護老人ホーム 八流荘

(介護老人福祉施設)

(短期入所生活介護)

## 1 事業の総括

2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が推進される中、平成30年度の介護報酬改定は6年に一度の診療報酬との同時改定であり、医療と介護の連携や自立支援・重度化防止の促進などに重点が置かれました。また、医療費の急激な上昇を見据え、なるべく入院せずに最期まで施設で暮らし、もし入院したとしても、早期に退院して施設に戻ることができるという体制づくりが求められました。当施設におきましても、施設で最期を迎えたいという希望にお応えできるよう、看取り介護を推進しました。施設の配置医による看取りはもちろんのこと、配置医が対応できない部分を地域の医療機関との連携により、終末期の方を柔軟に受け入れができる体制を作りました。

一方、介護事業所のスタッフによる虐待が増加している背景から、身体拘束のペナルティーが厳格化されました。当施設でも平成30年2月に要件を満たしていない身体拘束が発覚、行政より改善指導を受け、その後は改善計画書に則って体制の整備や研修の開催等、組織の改善に取り組んできました。引き続き、再発防止に向け法令遵守の徹底により、透明性・公平性の高い施設運営を行ってまいります。

## 2 事業報告

### 事業計画1 施設経営の安定

介護保険制度の改正の内容を注視し、取得可能な加算報酬が算定できるように体制を整備する等の対策を講じることで、安定的な施設運営につなげていきます。

【目標稼働率：90%（短期入所を含む）】

介護保険制度の改正内容を確認し、体制を変更することなく取得できる加算は算定しました。ただ、体制整備の必要な加算や新設の加算は費用対効果の面から算定を見合わせました。今後は、体制状況の変化や新設加算の情報収集により、適宜取得に向けた準備を進め、安定的な施設運営につなげていきます。また、慢性的な労働力不足が続いている中、介護業務の切り分けを行い、地域の元気な高齢者に介護の周辺業務を担当してもらうことで、介護スタッフを専門職化するための労働環境を整備しました。

30年度の目標値を入所定員80名に対し一日平均75名、短期入所定員12名に対し、一日平均8名としていました。その目標値に対し稼働実績は、入所一日平均75.95名、短期入所一日平均8.45名でした。

### 事業計画2 チームケアの強化

- (1) スタッフ間の情報共有を密にすることで早期発見・早期対応に努め、利用者様が安心した生活が送れるよう支援してまいります。
- (2) 重度化する利用者様の急増を見据え、多職種連携による医療的ケアや看取りケアの充実に取り組みます。

- (1) スタッフ間の情報共有を密にすることで体調異変の早期発見・早期対応に努め、利用者様が安心した生活が送れるよう支援しました。その結果、平成 29 年度との比較で入院者は 11 人減、平均入院日数は 1 日減となりました。
- (2) 地域の医療機関との連携により、医療的ケアや看取りケアが必要な利用者様を柔軟に受け入れました。また、施設で看取りを行ったケース数は 2 件でした。

#### 事業計画 3 余暇活動の充実

利用者様の特性に配慮した余暇活動や、日常生活の活性化につながる余暇時間の充実に図り、計画的に実施していきます。

年度当初には利用者様へのサービス向上を目的にサービス向上委員会を立ち上げました。その中で検討された、利用者様とのコミュニケーション・ツールの作成や移動図書の設定、新規サークル活動の導入をしましたが、活用や定着までには至っていません。次年度にはその普及に重点を置いて取り組んでいきます。

#### 事業計画 4 ノーリフティングケアの推進

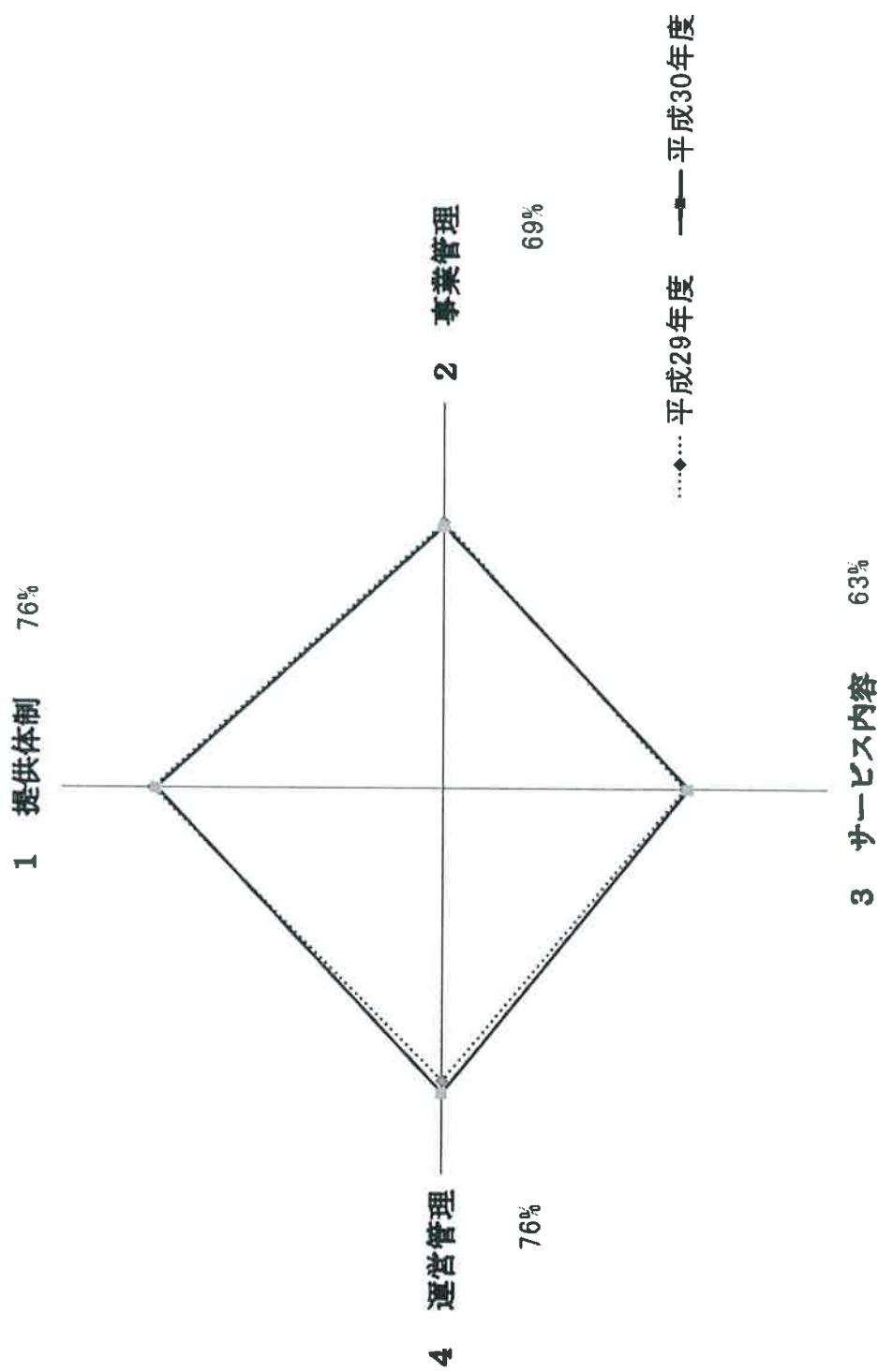
福祉機器の導入や福祉用具の活用をすすめ、利用者様にもスタッフにも負担の少ない介護を目指します。

理学療法士の指導の下、福祉機器や福祉用具の活用を進めましたが、ノーリフティングケアの目的や意義が十分に周知できていなかったため、施設全体としての取り組みまでには至りませんでした。令和元年度早々にはノーリフト委員会を立ち上げ、先進的な施設の取り組みを参考にしながら組織立った活動として推進していきます。

#### 事業計画 5 地域福祉の形成

- (1) 地域の福祉課題に積極的に向き合い、施設の機能や専門性、ノウハウを生かした公益活動に取り組んでいきます。
  - (2) 継続的にボランティアや職場体験学生を受け入れ、地域の方々との交流を図り、施設の情報等を発信することで開かれた施設を目指します。
- (1) 平成 30 年度は業務の効率化における体制整備に重点をおいたため、地域社会に出て関わりを深める機会が少なく、また、地域からの相談を待つという受け身の姿勢となっていました。令和元年度には公益活動を効果的に推進するためにも、まずは施設スタッフが地域の一員であることを認識し、地域福祉の役割を担うという意識を醸成していきます。
  - (2) 継続的にボランティアや職場体験学習を受け入れ、また例年地区公民館で行われている地域のビアホールへの出店等、地域の方々との交流を図りましたが例年とおりの内容で、進展までには至りませんでした。

# 介護サービス自己評価実施率（八流荘）



# デイサービスセンター やながれ

## 1 事業の総括

- (1) 会是である「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を基本理念とし、在宅高齢者の多様なニーズを把握して、きめ細かい支援を実施することで、地域に密着した柔軟なサービスの提供を行い、その人らしく安全で安心して生活ができるように努めた。
- (2) 加齢に伴う心身の機能低下を防止するように努めるとともに、随時、ご家族やケアマネージャーに情報提供を行い、疾病等の早期発見に努め、健康的な日常生活を送ることができるよう支援を行った。
- (3) 高齢者の世代変化を捉え、趣味や知識、経験等を活用したレクリエーションを実施することで、利用者様の意欲増進に努めた。

## 2 事業報告

### (1) 利用実績（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

|         | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 合計      |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|
| 営業日数    | 30   | 31   | 30   | 31   | 31   | 28   | 31   | 30   | 30   | 28   | 28   | 31   | 359     |
| 延べ利用者数  | 346  | 343  | 338  | 335  | 347  | 306  | 342  | 329  | 312  | 274  | 301  | 319  | 3,892   |
| 延べ送迎数   | 660  | 648  | 642  | 634  | 655  | 583  | 645  | 622  | 598  | 519  | 572  | 607  | 7,385   |
| 延べ入浴数   | 323  | 318  | 323  | 313  | 321  | 293  | 327  | 307  | 297  | 251  | 280  | 300  | 3,653   |
| 延べ食事数   | 346  | 342  | 338  | 335  | 347  | 306  | 342  | 329  | 312  | 274  | 301  | 319  | 3,891   |
| 稼働率 (%) | 64.1 | 61.5 | 62.5 | 60.0 | 62.1 | 60.7 | 61.2 | 60.9 | 57.8 | 53.3 | 59.7 | 57.2 | 平均 60.1 |

### (2) 行事実施状況

| 実施月日      | 行事名           | 実施月日       | 行事名           |
|-----------|---------------|------------|---------------|
| 平成30年 4/4 | お花見昼食会        | 10/23      | 運動会           |
| 5/22      | 赤野保育園児との交流会   | 11/16      | おやつ作り（ホットケーキ） |
| 6/21      | おやつ作り（わらび餅）   | 12/27      | 年忘れ会          |
| 7/25      | 赤野かもめサロンとの交流会 | 平成31年 1/16 | 新年会           |
| 9/20      | 長寿を祝う会        | 2/3        | 節分            |
|           | 穴内保育園児との交流会   | 3/28       | お花見昼食会        |

## 3 具体的取り組みの進捗状況

### (1) 職員満足向上の取り組み

ア 業務改善（インシデント対策による業務改善を含む）は取り組みができたが、業務マニュアルの見直しや業務手順書の作成は取り組みの途中であった。

イ 生活総合機能改善機器の基本的操作は誰もが使用できるレベルに達し、利用者支援に活かすことが出来た。



(2) 利用者満足向上の取り組み

ア 接遇研修と KYT 訓練は職員会等の場で実施したが、接遇研修が活かされていない場面があり今後の取り組み課題となった。

イ 利用者満足度調査は計画したが実施には至らなかった。

(3) 経営満足向上の取り組み

ア 利用回数の比較的多い利用者様の死亡及び入所移行等のため7名が利用中止となった。ケアマネージャーに新規利用者様の紹介依頼を継続しているが、新規利用者様は4名に留まったため、平均利用延人数は目標の400人／月に対して18.9%減の324人／月、平均稼働率では目標の73%に対して12.9%減の60.1%となり、利用者数・稼働率とも大幅に減少した。

イ 中重度ケア体制加算の再取得に関しては、年度途中で介護員の退職や長期休職があったため、再取得には至らなかった。

# ホームヘルプステーション やながれ

## 1 事業の総括

- (1) 地域福祉の担い手として、個人の尊厳を保ち、利用者様が希望される生活の実現を目指して、サービスの質の向上に努めた。
- (2) 利用者様の意向を尊重して、必要なサービスを提供するとともに、必要に応じてサービス内容の見直しを行い、適切なサービスが提供できるように業務の改善に努めた。
- (3) 利用者様が住み慣れた自宅で安全で安心して日常生活が送れるように、具体的な訪問サービス計画に基づき支援を実施した。
- (4) 適宜訪問ルートの見直しを行い業務の効率化に努めた。
- (5) 毎週1回全員参加のカンファレンスを開催して、個別介護方法の検討やスタッフ相互の情報共有を行うことで、介護力や観察力、コミュニケーション力の向上に努めた。
- (6) 利用者様やご家族等からの問い合わせや相談には誠意を持って早期対応に努めた。

## 2 事業報告

利用実績（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

|        | 4月   | 5月  | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 合計     |
|--------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|
| 営業日数   | 30   | 31  | 30   | 31   | 31   | 30   | 31   | 30   | 31   | 29   | 28   | 31   | 363    |
| 利用者数   | 39   | 40  | 37   | 38   | 36   | 37   | 37   | 35   | 34   | 33   | 33   | 34   | 433    |
| 延べ訪問回数 | 387  | 386 | 365  | 383  | 387  | 356  | 398  | 349  | 338  | 302  | 344  | 359  | 4,354  |
| 稼働率(%) | 97.5 | 100 | 92.5 | 95.0 | 90.0 | 92.5 | 92.5 | 87.5 | 85.0 | 82.5 | 82.5 | 85.0 | 平均90.2 |

## 3 具体的取り組みの進捗状況

- (1) 職員満足向上の取り組み
  - ア 登録ヘルパー1名の採用ができ、一部の業務の効率化ができた。
  - イ 毎週1回全員参加のカンファレンスを通じて、スタッフ相互に情報共有することで業務の標準化に努めた。
  - ウ 対応が難しい利用者様に対しては、担当ケアマネジャーと連携を取り、課題解決に向けた取り組みを実施中である。
- (2) 利用者満足向上の取り組み
  - ア 業務スキル向上のための事業所内研修を実施したが十分ではなかったため、次年度は計画的に実施する必要がある。
  - イ 利用者様の意向を尊重したサービスの提供に努めている。利用者満足度調査の計画はしたが実施には至らなかった。
- (3) 経営満足向上の取り組み

平均延べ訪問回数は目標の420回/月に対して13.6%減の363回/月、平均稼働率では目標の95%に対して4.8%減の90.2%となり目標の達成は出来なかった。

# 在宅介護支援センター やながれ

## 1 事業の総括

- (1) 事業の提供地域である芸西村、安芸市では高齢者が増加しているにもかかわらず、在宅で生活をする高齢者は減少しています。それに伴い、本年度は利用者数の増加は期待できないことを予測し、介護支援専門員1名を八流荘との兼務とし、法人内事業所との協働により介護保険部門の経営安定に努めました。今後は、要介護認定者が増加していくことに備えて、介護支援専門員の新たな雇用も必要となることが予測されます。実務につく介護支援専門員の少ない現状の中、近隣地域や介護支援専門員連絡協議会等の情報を収集して雇用に備えていきます。
- (2) 介護支援専門員は介護保険制度だけにとどまらずあらゆる制度、医療知識、地域事情と多岐にわたる知識の習得が必要とされます。各種の研修会に参加しマネジメント技術の向上に努めました。また、在宅生活をする利用者様の支援には各関係機関との情報共有が重要となります。高知県の補助事業である「高知医療・介護連携システム」に安芸市と共に参加して利用者様を取り巻くネットワークづくりの取り組みを始めました。

## 2 事業の概要

- (1) マネジメント技術の向上  
ケアマネ定例会、行政や県立あき総合病院主催の研修参加により介護支援専門員としての知識、技術の向上に努めました。
- (2) 法人内事業所との協働による経営安定  
法人スタッフであることを念頭に、法人内事業所への利用者紹介はもちろんのこと、各事業所の送迎時のサポートや行政機関との連絡などに連携を密にして、法人内事業所全体の経営安定に努めました。

ア サービス計画作成数：524件（月平均43.6件、平均稼働率83.8%）

イ 法人内事業所への紹介率

|      |                |     |
|------|----------------|-----|
| 訪問介護 | ホームヘルプやながれ     | 60% |
| 通所介護 | デイサービスセンターやながれ | 60% |
| 短期入所 | 短期入所生活介護八流荘    | 78% |

- (3) 利用者様を支えるネットワークづくり

高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を継続するためには医療と介護の連携が重要となっています。「高知医療・介護連携システム」に参加して利用者様に関係する医療機関、サービス事業所、行政機関など利用者様を取り巻く地域のネットワークを構築し利用者様が在宅生活の継続ができるように支援を行いました。

(4) 地域に必要とされる事業所

地域の行事への参加により住民との交流を通じ地域高齢者のニーズを把握し、介護保険制度の紹介やサービス計画作成などを通して地域に必要とされる事業所となるように努めました。

- ア 赤野公民館でのいきいき百歳体操
- イ 地区民生委員との会
- ウ 地区住民による赤野ビヤガーデン出店
- エ 安芸市福祉ふれあいバザーへのボランティア
- オ 安芸市主催の「みとりフォーラム」出演他

# 小規模多機能型居宅介護事業所 南風

## 1 事業の総括

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、「その人がその人らしく笑顔で過ごせる安心したい場所づくり」のスローガンをのもと、利用者様が住みなれた地域で、安心、安全な生活が送れるように努めました。

## 2 事業報告

### 事業計画 1

利用者様の自己決定を尊重し、利用者様が主体的に生活に関わっていけるよう努めます。  
(介護)

1日のスケジュールに利用者様とスタッフのコミュニケーションタイムを位置づけ、昔のことや外食及び外出先の希望、趣味嗜好等の聞き取り等を行い、サービスに反映しました。

### 事業計画 2

ご家族や地域との関係を大切にしながら、住み慣れた土地で安心して暮らしていけるように支援します。(介護)

家族会を2回/年行う予定でしたが、1回/年の開催となりました。利用者様、ご家族の希望やご自宅で困っていること等を共有し、サービスに反映しました。

また、民生委員総会に出席し、地域との連携が図れるようにしました。今後、地域ごとの月例会に出席をし、利用者様の住む地域の民生委員との関係性の構築に努めます。

### 事業計画 3

利用者様の生活機能の維持、向上に努めます。また、身体状況に応じた栄養バランスのとれた食事提供を行います。(看護)

利用者様の生活機能の維持、向上に努めました。食事面では、家庭料理を基本とし、盛り付けや食器にも配慮し、食事の楽しみを持っていただけるよう努めました。季節ごとの行事や外出イベントについては、天候や利用者様の体調等により変更はありましたが概ね予定どおり実施できました。

### 事業計画 4

利用者様の目標(ゴール)、利用者様の当面の目標(～したい)を明確にし、日々のかかわりができるようにします。(介護支援専門員)

担当スタッフがケアプランのモニタリング(1回/6ヵ月)ができるような体制作りができ、ケアプランをもとにサービスは提供されていることを理解し、日々のサービス向上に努めました。

事業計画5 収支のバランスに考慮しながら、効率的な事業運営に努めます（管理）

稼働率については、8、10月末にスタッフの退職があり、職員配置上新規利用の受け入れが困難であった時期があったこと、2、3月に入所施設への移行や入院が続いたことがあり、今年度は平均稼働率80.4%と、昨年度比5.2%減となりました。また、6月から訪問体制強化加算を取得していましたが、9月～12月は、職員配置上取得中止、1月から再取得となりました。

住み慣れた地域でより長く暮らし続けることができるためには、利用者様、介護しているご家族を支えることが必要であり、泊まり（連続）の需要は増えてきています。水木、土日の宿泊日の設定を、4月からは木～日連続4日の泊りを実施すること、要介護から要支援になり、利用が出来なくなる方が引き続き利用ができるように、介護予防の指定申請、認知症加算の取得を進めます。また、今年度は、あき総合病院の地域連携室から直接の相談がありました。今後は南風新聞を毎月発行、広報活動を継続、強化し稼働率アップにつなげます。

# 障害者支援施設 とさ

## 1 事業の総括

関係法令を遵守し、土佐厚生会の会是を基本理念として、利用者様の人権の尊重と自己決定、自己選択の保障及びその自立に向けた支援に努め、利用者様が安心・安全な生活と社会参加ができる支援をしました。

また、「地域の福祉拠点」をスローガンとして、地域との係わりを深め、地域の福祉ニーズに対応できる施設作りに努めました。

## 2 事業報告

### 事業計画 1

利用者様の思いを大切にした個別支援計画の作成に努めます（サービス管理部門）

利用者個々の思いを面接や普段の様子を視てニーズを抽出、個別支援計画を作成して3ヶ月毎に中間評価、6ヶ月毎に見直しを行い、個別支援に努めました。

### 事業計画 2

接遇技術・介助技術を高め、質の高いサービスの提供に努めます（生活支援部門）

内部研修によって支援技術の向上と共通化を図り、外部研修にて介護に関する知識を深め、福祉資格取得への支援を行い、質の高いサービスの提供に努めました。

### 事業計画 3

健康管理をしながら、安心・安全な生活の支援に努めます（看護部門）

毎日のバイタルチェックをはじめ普段と変わりが無いか見る視点で接遇を行い、異常の早期発見と早期通院を心がけることで安心・安全な生活の支援に努めました。

### 事業計画 4

計画書に基づいてリハビリを実施、機能低下の防止に努めます（リハビリ部門）

リハビリテーション実施計画書によるリハビリを実施すると共に利用者様・ご家族・支援スタッフからの福祉機器に関する相談に対応することで機能低下の防止に努めました。

### 事業計画 5

利用者様の健康・嗜好を考慮しながら、安心・安全な食事の提供に努めます（給食部門）

栄養ケア計画により利用者個々の健康・嗜好に留意した食事を提供、他施設の見学や給食委託業者の説明を伺う事により、食事提供環境の向上に努めました。

### 事業計画 6

報告・連絡・相談・確認を密に連携とチームワークで、良質で円滑なサービス向上と業務改善に努めます（事務部門）

事務所は、施設の顔であることを自覚して来客や電話の対応を行い、伝言メモの工夫等により報告・連絡・相談・確認が抜からないように努めました。また、改善提案制度の推進を行いムリ・ムダ・ムラの解消に努めました。

### 3 具体的な取り組みの成果

#### 具体的な取り組み 1

##### 職員満足向上の目標【働きたい職場にする】

(1) 達成水準：職員定着率 95%以上

(2) 達成手段

ア 人事考課面接・身上調書面接により、帰属意識向上を図る。

イ 職場内研修・OJTにより、スキル向上と部署間連携向上を図る。

ウ 気軽に相談できる体制を整え、スタッフのストレス軽減を図る。

(1) 職員定着率は 94%と達成水準にはとどきませんでした。須崎労働基準協会より優良事業場として表彰されました。

(2) 達成手段

ア 4月と10月に上司による人事考課表を基にした育成と上司部下の意識合わせを行いました。12月に身上調書の内容によって面接を実施、労働環境の改善に努めました。育成と労働環境の改善により職場環境を整え、帰属意識向上を図りました。

イ 各部署が輪番で研修担当となり2ヶ月に1回、職場内研修を実施して他部署に自部署の業務を理解してもらうことで部署間連携の向上に努めました。改善した方がよい業務に対して重点的にOJTを実施してスキル向上に努めました。

ウ 上司や法人本部のハラスメント窓口以外にも育成担当員・研修担当員・虐待防止委員・衛生委員が相談窓口となって、職場に関する相談の傾聴と助言を行い、プライベートの相談も傾聴することで、スタッフのストレス軽減に努めました。

#### 具体的な取り組み 2

##### 利用者満足向上の目標【充実したサービス提供を行う】

(1) 達成水準：稼働率 98%以上

(2) 達成手段

ア 未実施の加算サービスを提供し、サービス内容を充実させる。

イ 全スタッフ月1件以上の改善提案を目指す。

ウ 個別支援計画により、個別ニーズの支援を充実させる。

(1) 施設入所支援 96.6%と生活介護 92.8%と達成水準にはとどきませんでした。

(2) 達成手段

ア 強度行動障害支援者養成研修を受講し重度障害者支援加算(Ⅱ)を取得できる体制を強化、常勤看護職員等配置加算(Ⅱ)を取得できる体制を整えることでサービス内容の充実に努めました。

イ 観る目を養う改善提案の年間件数は、改善 93件・提案 20件・ヒヤリハット 123件の合計 236件。改善提案制度を開始して6年目のため、毎月1件の提出は達成できなかったが、ヒヤリハットの提出件数が増え、スタッフの観る目が向上しました。

ウ 半年に1回の見直しを基本として、必要に応じて個別支援計画の修正を実施することで、利用者個々のニーズに可能な範囲の支援を行いました。



### 具体的な取り組み 3

経営満足向上の目標【利用単価と稼働率の向上による増収を図る】

(1) 達成水準：稼働率 98%以上

(2) 達成手段

ア 未実施の加算サービスを提供し、利用単価を上げる。

イ 入所定員 5%枠を活用して入所者在籍数、常時 50 名を目指す。

ウ 新規の生活介護サービスの通所者を増やす。

(1) 施設入所支援 96.6%と生活介護 92.8%と達成水準にはとどきませんでした。

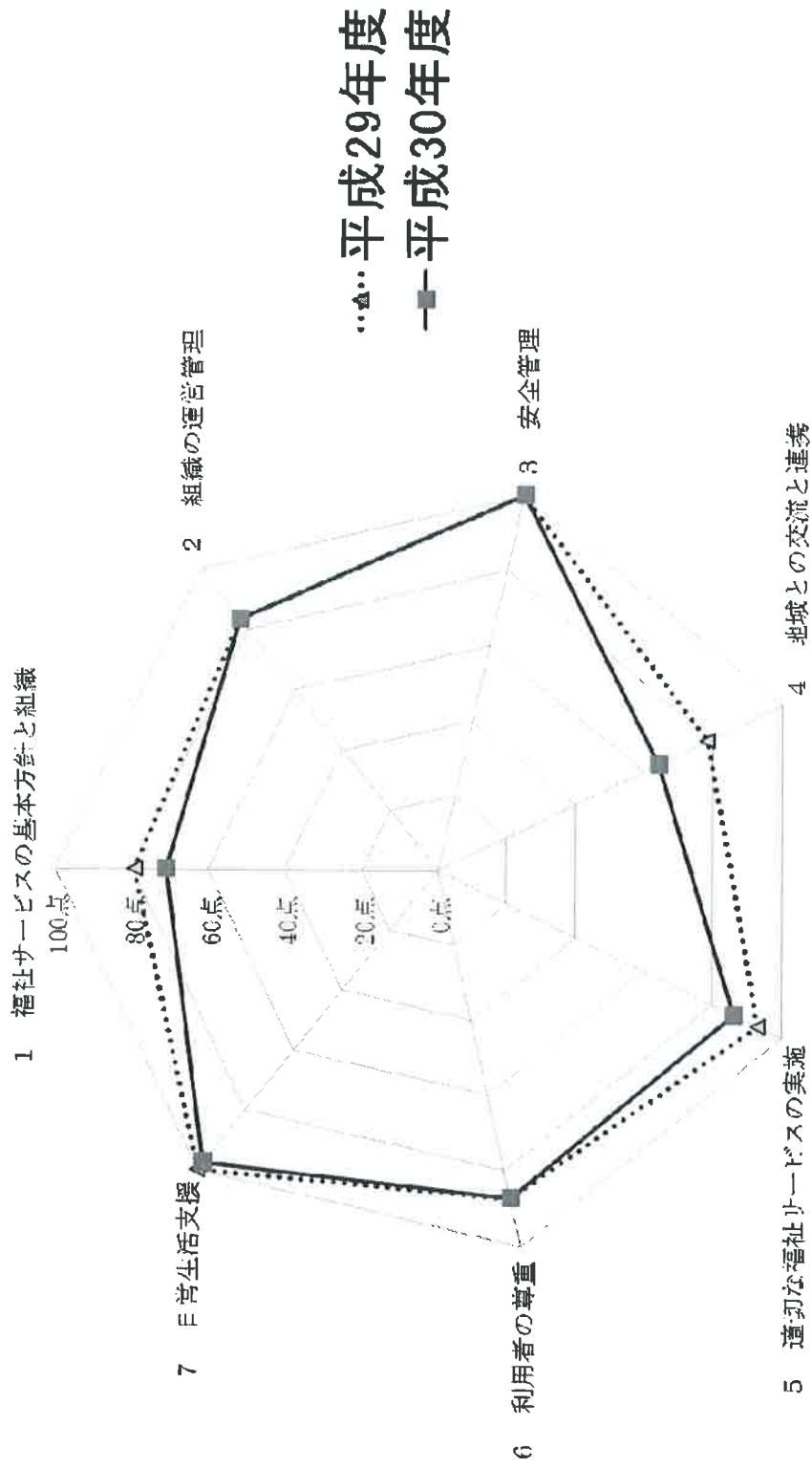
(2) 達成手段

ア 重度障害者支援加算(Ⅱ)と常勤看護職員等配置加算(Ⅱ)を取得できる体制は整えたが、対象となる利用者様が不在のため、加算には至りませんでした。報酬単価と介護職員等処遇改善加算の見直しにより利用単価は上昇しました。

イ 見込みよりも退所された利用者様が多く、一時的に 51 名在籍の時もあったが、概ね 50 名在籍となりました。

ウ 3 名の利用者様に通所の新規利用があったが、2 名の利用者様が施設入所と引越しのため通所利用を終了しました。

## 評価細目の自己評価結果 (障害者支援施設とさ)



## 短期入所事業所 とさ

### 1 事業の総括

当事業所は障害者支援施設とさに併設、事業は障害者支援施設とさに準じて実施しました。

### 2 事業報告

- (1) 空床の効率的な活用を行うことで、利用したい時に利用できるように努めました。また、積極的な新規利用者の受入れを行い、契約者数と実利用者数が増加しました。短期入所サービスの専用居室が二部屋のみのため希望する利用者様の性別により、利用できない場合もあったが、可能な範囲で受入れを行うことで利用稼働率が上昇しました。

#### (2) 利用状況

##### ア 稼働率

(単位：%)

| 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 年間   |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 78.3 | 89.5 | 80.8 | 89.5 | 83.1 | 80.8 | 87.9 | 82.5 | 79.0 | 79.8 | 88.4 | 87.1 | 83.9 |

##### イ 利用契約

(単位：人)

|      | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 短期入所 | 0   | 2   | 4   | 4   | 9   | 22  | 41 |

##### ウ 実利用人数

(単位：人)

|      | 区分1 | 区分2 | 区分3 | 区分4 | 区分5 | 区分6 | 合計 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 短期入所 | 0   | 2   | 4   | 4   | 8   | 17  | 35 |

#### (3) 支援内容

- ア 安全で安心して生活を営むことができる設備の維持管理と環境の保持に努めました。
- イ 併設の障害者支援施設に準じて日常生活の支援を行いました。
- ウ 適切な食事の提供と健康の保持に努めました。

# 就労継続支援 B 型事業所 カトレア

## 1 事業の総括

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者様が地域社会の一員として自立生活を送るための生活面の支援と、就労に必要な知識及び技能を高める就労継続支援に向けて、会是の「愛情」、「奉仕」、「連帯」の精神を遵守し、平成 30 年度の目標『信頼の継続』の向上を目標に努力しました。

## 2 目標内容

- (1) 利用者様の人権を尊重し、自己選択・自己決定を保障した地域社会において安全で安心して自立生活を送ることができるよう支援をしました。
- (2) 利用者様のニーズを把握し、個別支援計画に基づき就労支援と社会生活支援に努めました。
- (3) 授産活動での収益や顧客の増加に努め、平均工賃が前年を上回るよう、その目標達成に努めました。
- (4) 安定した施設運営ができるよう利用契約者 30 名（定員 20 名）を目標とし、稼働率 115% を目標としました。
- (5) 利用者様の社会参加やご家族との交流を図るため、イベントや行事などの企画や参加を積極的に行いました。
- (6) 良質の福祉サービスを提供するためスタッフの資質の向上を図りました。
- (7) 養護学校高等部と連携を深めるため、積極的に行事に参加し実習生の受入れを行いました。

## 3 事業報告

- (1) 利用者様の人権を尊重し、地域社会において自立生活を送ることができるよう支援に努めました。
  - ア スタッフの人権意識の徹底への取り組みとして
    - (ア) ノーマライゼーションや福祉の理念、人権擁護などについての学習会を虐待防止委員会で行い、法人の理念や目標の理解と徹底を図る勉強会も開催しました。
    - (イ) 利用者様の障がい特性や事例検討についての学習を行いました。（外部研修、施設内研修、就労支援部会等）
    - (ウ) 日々の支援活動の中で、利用者様の人権を意識した支援についての検討や反省について、ミーティングや職員会で検証していきました。
  - イ 利用者様一人ひとりの想いを大切にし、自己選択自己決定ができる場面設定や、意思表示の手段等に配慮のあるサービスを行うため以下の課題について取り組みました。
    - (ア) 利用者様が自己選択、自己決定できる能力の養成への取り組みを行い、利用者様のコミュニケーション能力を個々の障がい特性に応じ高めていく支援を心掛けました。
    - (イ) 利用者様が自己決定、自己選択できる場所、機会を設定するよう努力しました。
    - (ウ) 利用者様との信頼関係の継続に努め、利用者様に想いを話していただける関係性を深めるよう努めました。
    - (エ) 日課の中での朝夕の集いや自治会活動、行事への取り組み等の支援の中で、利用者様が自主的、積極的に、意見や要求が出せるような環境を整え、全ての関わりの中で配慮した対応をするよう努めました。

- (2) 基本的な日常の自立生活へ向け、個別支援計画書の策定とそれに沿った支援に努めました。
- ア 全スタッフが利用者様のニーズに応えられる支援計画が立てられる力量、またエンパワメントの視点で支援できる力量をつける取り組みを進めました。
- (7) 利用者様の個別支援の課題設定は、個別支援計画をプログラム化し、目標達成に向けて、意欲的に取り組めるよう支援しました。
- (4) 支援のサイクルとして、観察、(記録)集約、分析、目標設定、手だて(5W2H)実践、評価で行い、定期的にモニタリングを行い確認しました。
- イ 基本的な日常の自立生活へ向けての支援に努めました。
- (7) 利用者様には、個人個人に応じた個別支援計画書の作成を行い、また必要に応じ、その都度見直しを行いました。
- (4) 作成した個別支援計画書は、利用者様および契約支援者(扶養義務者)に十分な説明を行い、理解を得るよう努めました。
- (7) スタッフは、利用者様およびその扶養義務者の人権の尊重、プライバシーの保護に努めるとともに、業務上知り得た個人の情報は他に漏らさないよう徹底しました。
- (5) 利用者様とご家族の関係または個人個人が抱えている悩み、不安の解消や調整に努めました。
- (6) 利用者様に対する日常生活上の相談、助言あるいは必要な支援を行いました。

#### 4 作業運営

- (1) 利用者様の工賃アップへの取り組み

ア 販売実績の向上により、作業内容や出勤率などを加味し、工賃時給額及び賞与のアップを図りました。

|              |         |
|--------------|---------|
| 平成 30 年度平均工賃 | ¥18,837 |
| 平成 29 年度平均工賃 | ¥18,572 |

- イ 各事業部に事業運営委員会を設置。(スタッフの運営委員会、利用者様の運営委員会)責任者を決め、各事業部の事業内容や、収益高、問題課題について定期的に話し合いを行い、改善についての検討を行いました。(商品の品質改善、販売先の確保等)
- ウ 高知県食品総合衛生管理認証HACCPの取得をした事で、HACCP管理規定・作業マニュアル・衛生管理マニュアル・商品規格書・食品加工部室内の衛生区域整備等を実施継続しております。

- (2) 各事業部売り上げ実績は以下のとおりでした。

| 部署   | 作業内容            | 30年度売上     | 目標金額       |
|------|-----------------|------------|------------|
| 乾燥工場 | 乾燥生姜・野菜チップ、生姜洗浄 | 14,077,706 | 17,500,000 |
| 食品加工 | 粉末商品・いりこ請負      | 3,096,403  | 2,500,000  |
| 喫茶   | 喫茶              | 3,013,068  | 2,800,000  |
| 空調   | 空調清掃            | 205,200    | 200,000    |
| 合計   |                 | 20,392,377 | 23,000,000 |

(3) 各事業部の取り組み

ア 食品加工

粉末商品を対象として、高知県食品総合衛生管理認証HACCP（第3ステージ）を昨年度取得したことで、認証マークを商品ラベルに使用しました。新規販売先獲得として高知県産品商談会に出展することが出来、新規取引先が増えました。

イ 乾燥工場

乾燥生姜、乾燥野菜チップの販売先であるサニーフーズとの安定した取引を行うために、予冷庫建設の計画をしていたが、建設には至らなかった。取引に関しては安定した取引を行うことが出来ました。また、JA高知県との関係性も良好であり西山きんとき等の新規乾燥に取り組むことが出来ました。

ウ 喫茶部門

法人の福利厚生事業であるスタッフのランチ代補助が浸透し、毎月20万円を超える売上が確保できています。また、今年度も地元の農家より玄米を購入することで、利益率の向上に努めました。

エ 請負作業部門（空調清掃）

支援施設とさの空調清掃を年2回、使用量が増える前（4月、10月）に実施しております。空調清掃を行う際は、通風孔周辺の清掃をより丁寧に行いました。

(4) 利用者様の安定した通所と稼働率アップに向けた取り組みに努力しました。

ア 利用契約者30名を目標に稼働率向上とカトレアPRに努めました。

(ア) 月別利用状況

|                |        | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 合計/@   |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 平成<br>30<br>年度 | 利用契約者数 | 28     | 28     | 28     | 28     | 28     | 28     | 28     | 28     | 28     | 28     | 28     | 28     | 28.0   |
|                | 開所日数   | 21     | 22     | 22     | 22     | 21     | 18     | 23     | 22     | 20     | 20     | 20     | 21     | 252.0  |
|                | 出勤のべ人数 | 515    | 548    | 526    | 532    | 485    | 432    | 561    | 535    | 480    | 480    | 476    | 509    | 6079   |
|                | 1日平均   | 24.5   | 24.9   | 23.9   | 24.2   | 23.1   | 24.0   | 24.4   | 24.3   | 24.0   | 24.0   | 23.8   | 24.2   | 24.1   |
|                | 稼働率    | 122.6% | 124.5% | 119.5% | 120.9% | 115.5% | 120.0% | 122.0% | 121.6% | 120.0% | 120.0% | 119.0% | 121.2% | 120.6% |

(イ) カトレア機関紙『スマイル』を発行し、カトレアの日常をPRしました。

(5) 年間行事の参加やイベント出店参加を通じて、利用者様の文化的、社会的活動への参加、仲間づくりなどの機会の提供を行いました。

<平成30年度年間行事>

| 実施年月日          | 内容             | 実施場所    | 参加利用者数 |
|----------------|----------------|---------|--------|
| 平成30年<br>5月27日 | 障害者スポーツ大会・陸上   | 春野運動公園  | 1      |
| 6月30日          | 日高養護学校なつまつり    | 日高養護学校  | —      |
| 7月21日          | こくふ村祭り         | 支援施設こくふ | —      |
| 9月1日～2日        | 日本家族看護学会全国学術集会 | かるぽーと   | —      |
| 9月18日          | 障害者雇用優良事業所表彰式  | 県庁      | 2      |

| 実施年月日             | 内容                 | 実施場所      | 参加利用者数 |
|-------------------|--------------------|-----------|--------|
| 平成30年<br>10月 8日   | 高知リハビリテーション学院学祭    | 高知リハ学院    | —      |
| 10月13日            | ハビリ地域フェスティバル       | 高知ハビリテリング | —      |
| 10月17日            | お気軽カフェ             | サブライム 土佐店 | 2      |
| 10月20日            | とさゾーン涼風祭           | とさ・カトレア   | 21     |
| 11月 2日            | 日帰り旅行              | 新屋島水族館    | 23     |
| 12月15日            | クリスマス・忘年会          | カトレア      | 21     |
| 平成31年<br>3月28日    | 花見                 | 越知・宮の前公園  | 23     |
| 平成30年<br>5月～年(5回) | 土佐市から始まるミュージックステップ | とさ・くすのき園  | 18     |

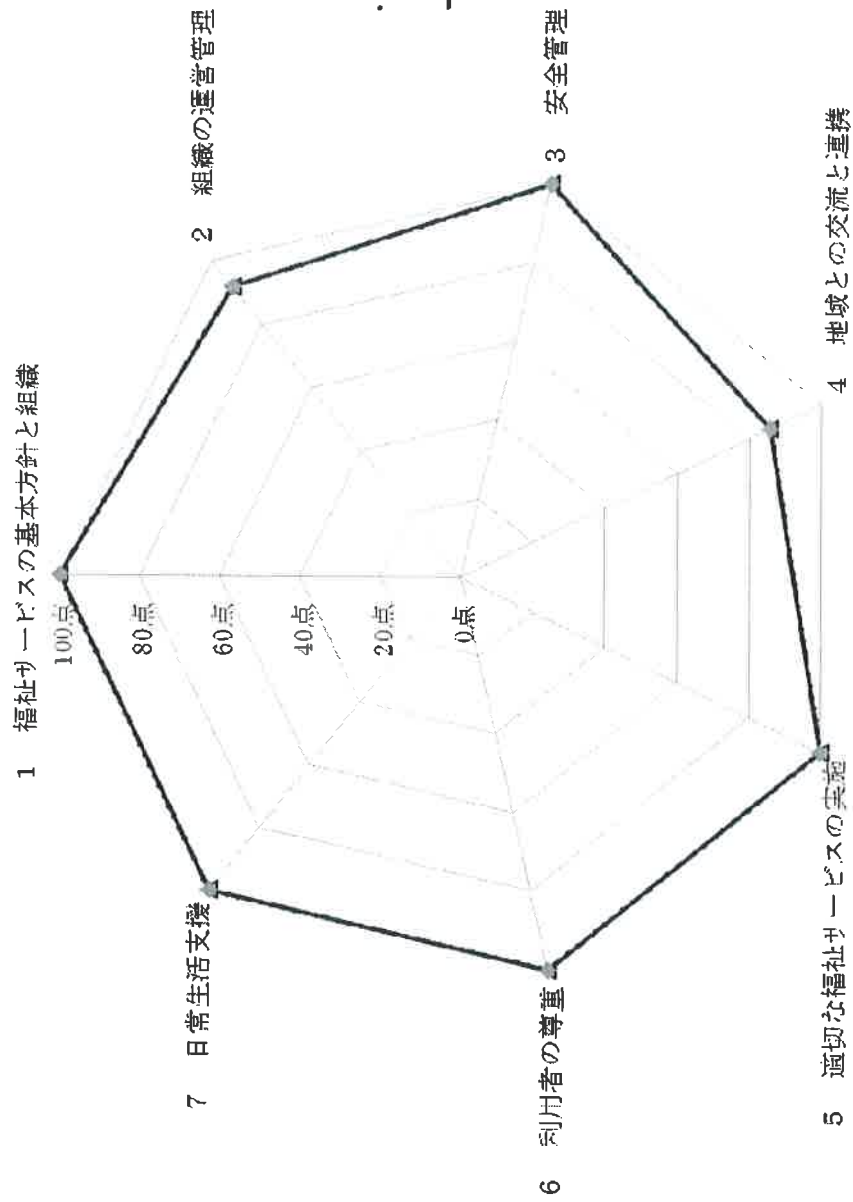
- (6) 職員資質向上に取り組みました。福祉の理念の徹底、就労支援施設の目標についての研修を行い、利用者様に質の高いサービス提供できるスタッフの養成に努力しました。

ア 目標は以下のとおり行いました。

- (ア) 利用者様の障がい特性に対する理解の徹底を図りました。
  - (イ) 外部研修、施設内研修、法人研修会へ積極的に参加しました。専門性・組織性・常識性のバランスの取れたスタッフの育成に努めました。
  - (ウ) 福祉の理念、福祉に携わるスタッフとしての心得、障がいと支援、質の高いサービスの提供等についての勉強を行いました。
  - (エ) 業務改善提案表彰制度を活用し、気付きの心を持って支援に当たりました。
- (7) 養護学校高等部の主催するイベントや研修に参加すると共に、学生の実習を受け入れ、学校との連携を深めました。また、特別支援学校や地域活動支援センター、相談支援事業所との連携を密にしました。特別支援学校においては、平成30年6月14日に高知大学附属特別支援学校の学校参観に参加し、日高養護学校の夏祭り参加や卒業式へ出席しました。又、実習生の受け入れや学校行事にも積極的に参加しました。

| 実習生受入期間      | 学校名          | 学年 | 性別 |
|--------------|--------------|----|----|
| 10月29日～11月9日 | 高知市立高知特別支援学校 | 高1 | 男子 |

## 評価細目の自己評価結果 (カトリア)





# 障害者福祉ホーム コーポラスこくふ

## 1 事業総括

ウィール社や支援施設こくふと連携を図り、土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連携」を遵守し、利用者一人ひとりの人権の尊重と障害の理解をもとに、地域社会の一員として主体的な生活を送ることができるよう支援しました。また、こくふゾーンのスローガンである「気付きと変化でつながる和」を合言葉とし、利用者様の社会生活力増進に努めました。

## 2 事業報告

(1) 利用者様のニーズと課題に向き合い、相談援助や日常生活支援を行いました。

(2) 金銭管理、健康管理、服薬管理を個別に対応しました。

ア 金銭管理が苦手な利用者様とお小遣い帳のチェックを一緒に行いました。

イ 服薬の管理が必要な利用者様に薬カレンダーのセットを一緒に行いました。

(3) 利用者稼働状況（定員 10 名）

入居者 10 名を目指しましたが、11 月以降入居者の確保ができませんでした。

年間稼働率は 92.5%でした。

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 入居者数 | 9  | 9  | 10 | 10 | 10 | 10 | 10  | 10  | 9   | 9  | 9  | 9  | 114 |
| 増減   |    |    | +1 |    |    |    |     | -1  |     |    |    |    | ±0  |
| 備考   |    |    | ア  |    |    |    |     | イ   |     |    |    |    |     |

ア 支援施設こくふで障害者雇用された方が自宅より入居

イ 高齢者施設へ転居

(4) 余暇活動等の支援として、以下の行事を実施しました。

| 余暇活動              | 実施日         | 参加者                |
|-------------------|-------------|--------------------|
| バーベキュー大会の開催       | 平成30年 7月 1日 | 利用者様、管理者、管理人 計 9名  |
| こくふ村祭りへの参加        | 7月21日       | 利用者様、管理人           |
| こくふクリスマス忘年会への参加   | 12月19日      | 利用者様 8名参加          |
| ウィール社クリスマス忘年会への参加 | 12月26日      | ウィール社利用者様以外の 3名も参加 |

(5) 希望者には毎週週末（金曜日又は土曜日）に買い物支援を実施し、行き先はサンシャインカルディアとサニーアクシス南国を交互に行きました。

(6) 非常災害に備え、消防計画に沿った総合的な防災、避難訓練を実施しました。

| 訓練内容   | 4月 | 5月   | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月   | 11月   | 12月 | 1月   | 2月   | 3月   | 回数計 |
|--------|----|------|----|----|----|----|-------|-------|-----|------|------|------|-----|
| 避難誘導訓練 |    | 5/30 |    |    |    |    |       |       |     |      |      | 3/13 | 2   |
| 消火訓練   |    | 5/30 |    |    |    |    |       |       |     |      |      | 3/13 | 2   |
| 通報訓練   |    | 5/30 |    |    |    |    |       | 11/22 |     |      |      | 3/13 | 3   |
| 図上訓練   |    |      |    |    |    |    |       |       |     | 1/29 |      | 3/29 | 2   |
| 防災地震訓練 |    |      |    |    |    |    | 10/31 |       |     |      | 2/15 |      | 1   |
| 防災水害訓練 |    |      |    |    |    |    |       |       |     |      | 2/15 |      | 1   |

(7) 施設周辺に花を植え、草引きや水やりを利用者様が主体的に行いました。

(8) 各居室のエアコンや水回り等その都度修理業者にて対応しました。その他には特に大きな修繕はありませんでした。

## 公益を目的とする事業

### 1 医療保健事業

本会定款第 38 条に定める医療保健の事業の状況は、高齢者や障がい者が入所又は通所している以下の施設で医療や心身の状況に応じ、治療のみならず疾病の予防のための処置を実施した。

その内容は以下のとおりである。

| 事業所名         | 設置場所                        | 配置人員                  | 開設年月日          | 指定診療所       |
|--------------|-----------------------------|-----------------------|----------------|-------------|
| 安芸療護園<br>診療室 | 安芸市赤野甲 564<br>障害者支援施設あき内    | 常勤医師 1 人<br>看護師(兼)1 人 | 昭和60年<br>7月29日 | 医療法第 1 条の 5 |
| 国府寮診療所       | 南国市左右山 290-2<br>障害者支援施設こくふ内 | 嘱託医師 1 人<br>看護師(兼)1 人 | 昭和63年<br>6月 1日 | ”           |

### 2 その他の事業（公益を目的とする事業）

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 小規模作業所ファーモニー
- (3) 介護職員初任者研修
- (4) 墓地（合祀廟）の経営
- (5) 福祉モデル住宅の展示

